

第4回龍ヶ崎市最上位計画策定審議会

令和4年6月6日（月）

午前10時～

龍ヶ崎市役所附属棟1階第1会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 次期最上位計画に関する将来ビジョン（素案）及び基本計画素案作成の考え方について
 - (2) その他
- 3 閉 会

～序章～

●●計画の名称●●
の策定にあたって

1 策定の趣旨

本市では、これまで、最上位の計画として、「龍ヶ崎市総合計画」、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」を策定し、市民とまちづくりの目標や方向性を共有しながら、計画的にまちづくりを進めてきました。

我が国は本格的な人口減少社会に突入し、少子高齢化がさらに進行しています。また、東日本大震災をはじめとした度重なる自然災害に加え、新型コロナウイルス感染症*▲のまん延による社会・経済の混乱など、地方自治体を取り巻く環境も大きく変化しています。

さらに、働き方やライフスタイルの多様化、社会全体のデジタル化の進展、地球温暖化への対応など、地方分権・地方創生の一層の推進とあわせて、より効率的で柔軟な行財政運営が求められています。

こうした変化を踏まえつつ、将来にわたって持続可能なまちを築いていくためには、新たな時代にふさわしい魅力的なまちづくりを、市民と行政がともに力をあわせて進めていくことが不可欠となります。

「●●計画の名称●●」（以下「本計画」といいます。）は、本市の目指すまちの姿を市民とともに共有し、時代の変化に対応した持続可能なまちづくりに向けて、ともに歩みを進めるための指針として策定しました。

2 本計画の位置付け

本市では、2014年に、市民・議会・行政が連携・協力してまちづくりを進めていくための基本的なルールを定める「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」を制定しています。その第23条において、市のまちづくりの基本方向を示す最上位の計画を定めることとし、この最上位の計画に基づき、まちづくりを推進していくことが規定されています。

本計画は、「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」に基づく、本市のまちづくりの基本方向を示す最上位の計画として位置付けます。

また、本計画の策定にあたっては、国や茨城県の方針や政策などに加え、本市が定める各分野別計画などとの整合と相互補完を図ります。

さらに、2015年度から「まち・ひと・しごと創生法」に基づく、まち・ひと・しごと創生（地方創生）*▲に関する取組の基本的な計画として「龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めていますが、本計画では、これを包括するものとして位置付けます。

図表1 計画の位置付け



3 本計画の役割

(1) 目指していくまちの姿を共有するための最上位の計画

時代の変化に対応した住みよいまちを創るため、どのようなまちを目指し、その実現に向けてどこに力点をおいて取り組んでいくのか、方向性と道筋を示す最上位の計画です。

(2) 「協働によるまちづくり」を進めていくための行動指針

「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」に定める「協働*▲によるまちづくり」を進めていくためには、市民との意識や方向性の共有し、同じ目標に向かって共に行動していくことが不可欠です。そのための行動指針としての役割を担います。

(3) 取組の成果や達成状況を確認するための物差し

本計画に掲げ、取り組んできたものが目標をどれだけ達成したのか、どのような活動を行い、どれほどの成果を得ることができたのか、成果目標や重要業績評価指標（KPI）*▲などを用いて評価を行うことで、PDCAサイクル*▲に基づく進行管理の物差しとしての役割を担います。

図表2 PDCA サイクルに基づく進行管理



4 本計画策定にあたっての基本視点

本計画策定にあたっては、市民の納得性や計画の実効性を高めるため、次の視点に沿った計画づくりを進めました。

(1) 時代の潮流や市民ニーズを捉えた実効性の高い計画づくり

時代や社会情勢の変化などに柔軟に対応することはもちろんのこと、市民のニーズ*▲を的確に捉え、納得性を高めることで、具体的な政策として実現できるよう、実効性の高い計画づくりに取り組みました。

(2) 市民の声を反映した、分かりやすい「龍ヶ崎スタイル」の計画づくり

市民との対話を重視した協働による計画策定に取り組み、様々な市民参画の機会を確保し、市民の声や思いを本計画に反映させることで、市民と目標を共有し、共に実践するためのシンプルで分かりやすい計画づくりに取り組みました。

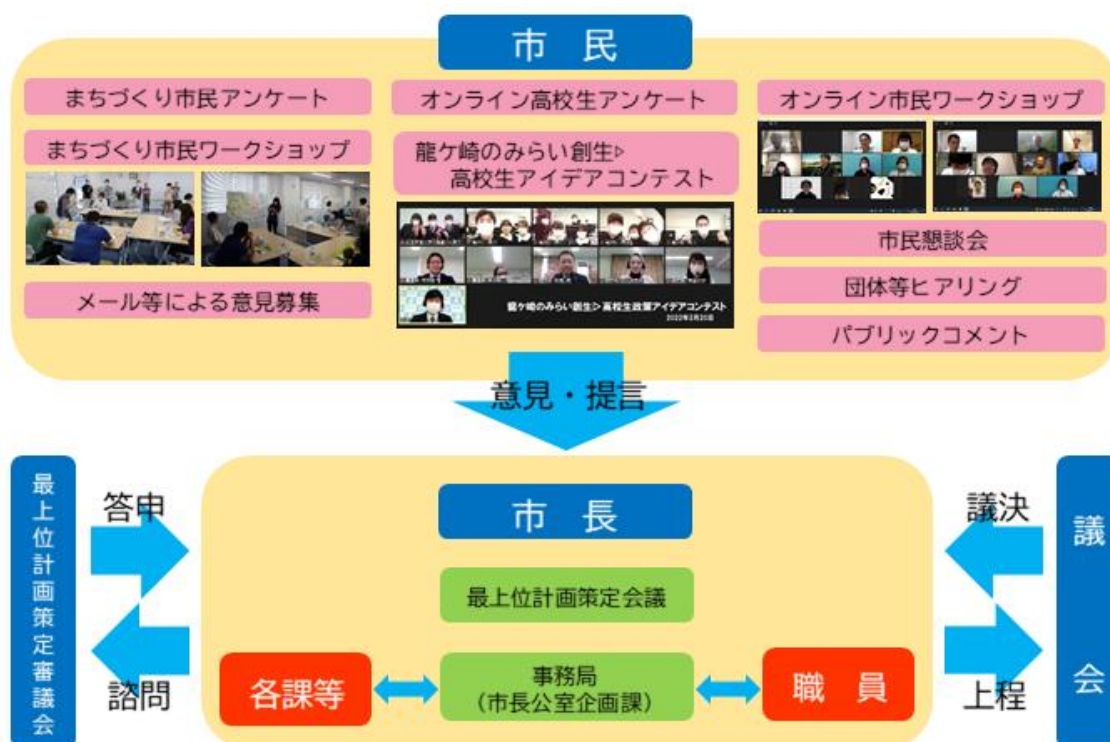
(3) 龍ヶ崎らしさと戦略的視点を重視したメリハリのある計画づくり

本市の魅力ある地域資源*▲や都心から近い位置的優位性を最大限活用し、龍ヶ崎らしい、特徴ある施策*▲を掲げ、また、SDGs*▲や地方創生など、社会全体の要請に応えられるよう、戦略的視点を重視し、メリハリのある計画づくりに取り組みました。

5 本計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、まちづくり市民アンケートやまちづくり市民ワークショップといったこれまでの市民参画*▲手法を実施しつつ、高校生オンラインアンケートやオンライン市民ワークショップや龍ヶ崎のみらい創生▷高校生政策アイデアコンテストなど、市民が参画する機会を幅広く設け、市民と「ともに創る」まちづくりを形にしました。

図表3 本計画の策定体制



6 本市を取り巻く社会情勢の変化

(1) 加速する人口減少・少子高齢化の進行

国立社会保障・人口問題研究所*▲の「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」によると、日本の総人口は、2050 年に約 1 億 200 万人に、2065 年には約 8,800 万人に減少すると推計されています。特に、本市においては、出生者数や出生率において、推計結果を大幅に下回り、当初想定されたものよりも前倒しで少子化が加速しています。

年少人口や生産年齢人口の急激な減少と高齢者人口の急激な増加は、地域の労働力不足、経済活動の減退、地域のコミュニティの崩壊、社会生活基盤の劣化などをもたらし、また、市街地における人口の空洞化や空地・空家の発生といった「都市のスポンジ化」が懸念されており、人口減少社会に対応した都市構造への転換が求められています。

(2) 自然災害の激甚化と大規模災害への備えの必要性

近年、地球温暖化などを要因とし、豪雨災害（大雨・洪水・土砂災害など）が激甚化・頻発化しています。また、東日本大震災以降、プレートの移動活動が活発化したことにより、大規模地震の発生確率が高まっており、南海トラフ地震や首都直下型地震は、この 30 年以内に 70 パーセント以上の確率で発生すると想定されています。

このような状況を踏まえ、過去の災害から得られた教訓を活かし、今後の大規模災害の発生などの非常時において、適切な対応ができるよう、普段から備えておく必要があります。

また、都市インフラ*▲の予防的補修や計画的更新などを進め、災害に強いまちづくりも進めていかななくてはなりません。

図表4 2013年台風第26号による土砂災害（馴馬町）



(3) 地球環境問題・エネルギー問題の深刻化

大量の資源消費に起因する二酸化炭素の増加などによる地球温暖化の進行、大規模な自然破壊などによる生物多様性の喪失、新興国を中心としたエネルギー需要の急増などによる国際的な資源獲得競争の激化など、近年、地球環境・エネルギー問題が顕在化しています。

このような地球温暖化の進行による深刻な影響が懸念されるなか、世界各国では 2050 年までの「カーボンニュートラル*▲」を目指す動きも加速化しています。国においても、同年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050 年カーボンニュートラル」を宣言し、徹底した省エネルギー対策、エネルギー・産業分野での構造転換などに取り組んでいくこととしています。

(4) 社会のデジタル化の進展

国では、デジタル改革の司令塔として新たにデジタル庁を創設し、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げ、国民一人ひとりがニーズにあったサービスの選択ができ、未来志向のデジタルトランスフォーメーション (DX) *▲を推進しています。また、人工知能 (AI) *▲、ビッグデータ*▲活用、IoT*▲などを社会に実装させることで、全ての人とモノがつながり、様々な社会課題を解決し、よりよい社会変革を目指す「Society5.0*▲」の取組も進めています。

日常生活の中では、現在、テレワーク*▲やキャッシュレス化*▲の進展など、様々な場面でデジタル化が加速化されつつあります。

図表5 テレワークスペース (たつのご図書館)



(5) 価値観・ライフスタイルの多様化

社会や経済の成熟、国際化の進展などにより、これまでの画一的・横並び志向から、慣習にとらわれない自由で個性的な生き方や生活の多様な選択を求める動きが現れており、物質的豊かさから心の豊かさ・精神的豊かさを求める時代へと変わってきています。

具体的には、ワーク・ライフ・バランス*▲の推進、多文化共生*▲、ダイバーシティ*▲の理念に基づく共生など、多様な価値観・ライフスタイルの実現による持続的な成長に向けた取組が必要となっており、また、人々の幸福感や効用を数値化し、幸福の全体図を描き出そうとする試みなども活発化しています。

(6) 持続可能な地域社会の構築

持続可能な開発のための国際的な目標である「SDGs」への取組が、世界的な広がりを見せています。国においても「SDGsアクションプラン」を毎年策定し、民間企業の意識の高揚、学校におけるSDGs教育の取組、地域の身近な課題解決を通じたSDGsへの意識の浸透など、行政に限らず、多様な主体による、様々な取組の推進を図っています。

地方においても、人口減少に伴う税収の減少や高齢化の進展による社会保障費などの増大、公共施設の老朽化による建替えの問題など、多くの課題に対応することが必要であり、SDGsの理念に基づいた持続可能な行政運営が必要となってきます。

図表6 SDGsの17の目標 (アイコン)



(7) 新型コロナウイルス感染症の影響

2019年12月に初めて確認された新型コロナウイルス感染症は、世界全体へ瞬く間に感染を拡大させ、多くの命を奪い、社会経済活動にも大きな打撃を与え、現在に至るまで大きな影響を与え続けています。国内においても、緊急事態宣言の発令など、市民生活に大きな制限をかけることとなりました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行前後で、市民生活や社会生活に大きな変化や多様化が生じています。例えば、婚姻や出生数の減少、テレワークに代表される働き方・ライフスタイルの多様化、地方移住、キャッシュレス化などのデジタルトランスフォーメーション、公共交通機関の利用者数の減少などが挙げられますが、今後のしばらくの間、新型コロナウイルス感染症のもたらす影響は続くものと想定され、状況を注視しつつ、適時適切な対応が必要となってきます。

図表7 新型コロナウイルスワクチン接種会場



図表8 非接触型体表面温度測定機の設定



7 市民の期待とまちづくりの課題

市民参画の結果から得られた意見や提言を基に、市民の期待やまちづくりにおける課題についての抽出を行いました。

図表9 市民の期待とまちづくりの課題

市民の期待

- ・ 医療サービス体制、自然災害や治安対策などが充実した安心安全に暮らせるまち
- ・ 駅や大規模商業施設を拠点とした買い物や移動が便利なまち
- ・ 地域の魅力を活かした活気やにぎわい、交流、働く場があるまち
- ・ 空家対策の強化
- ・ 市の持つ「特徴」を活かした、魅力的で強みを活かした施策展開
- ・ 希薄になっている地域での関わり合いの強化や若者のまちへの関心の高まり
- ・ まちづくりを担う「人財*1」づくり

まちづくりの課題

- ・ 子育てに関する切れ目のない支援
- ・ 地域で活躍する人材の育成
- ・ 支え合う社会の実現と健康長寿社会の形成
- ・ 様々なリスクに対応できる安心安全な暮らしの確保
- ・ 地域資源を活用した活力ある地域経済づくり
- ・ 人口の変化に対応した都市基盤の再構築
- ・ 市民協働と官民連携の深化
- ・ 持続可能な行財政運営

8 本計画の構成及び計画期間

(1) 将来ビジョン

将来ビジョンは、中長期的に目指していくまちの姿やそれを具体化するための政策の柱などを示すもので、「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」第23条第1項に規定するまちづくりの基本方向を示す最上位の計画として策定します。

将来ビジョンの計画期間は、2023年1月から2031年3月までの概ね8年間とします。

(2) 基本計画

基本計画は、将来ビジョンに基づき、基本的な施策の方向と体系、主要な事業や優先プロジェクトなどを示します。

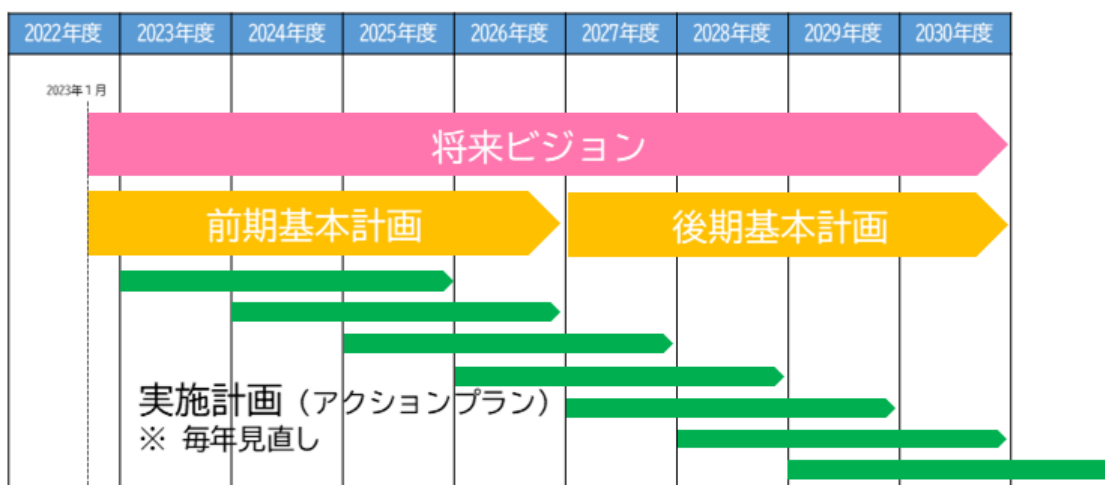
基本計画の計画期間は、前期基本計画を2023年1月から2027年3月までの概ね4年間とし、その後の社会情勢等の変化に応じて、必要に応じた検討・見直しを加え、後期基本計画を2027年4月から2031年3月までの4年間とします。

(3) 実施計画（アクションプラン）

実施計画（アクションプラン）は、基本計画に定めた施策の効果的な推進と年度ごとの取組の方針について、具体的な取組内容や事業費を示しつつ、毎年度策定します。

実施計画（アクションプラン）の計画期間は3年間とし、社会情勢等を踏まえ、毎年度見直しを行います。

図表10 計画期間



～第1章～

将来ビジョン

1 将来ビジョンとは

本市が中長期的に目指していくまちの姿やそれを具体化するための政策の柱などを示すものが「将来ビジョン」です。

将来ビジョンは、「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」第23条第1項に規定するまちづくりの基本方向を示す最上位の計画として策定しています。

なお、将来ビジョンの計画期間は、2023年1月から2031年3月までの概ね8年間とします。

2 将来に向けた本市のあるべき姿

「将来ビジョン」の計画期間である2030年度に向けて、本市のあるべき姿を次のように掲げ、まちづくりを推進していきます。

Creation

—ともに創るまち・龍ヶ崎—

龍ヶ崎の未来を創る

ともに 人を育て 夢を育み 輝く未来を創造する
子どもも 大人も 互いにかかわりあい つないで創る

まちに住まう人すべてが主役になり みんなで創りあげる
笑顔が続く 幸せが続く 住み続けたいなるまち 龍ヶ崎
そんなまちを創るために 始めよう そして 動き出そう
一人ひとりの Creation

3 まちづくりの基本姿勢

本市のあるべき姿の実現に向け、これから本市が取り組んでいくまちづくりに関しての基本姿勢を次のように定めます。

(1) 「自ら考え、行動する」から生まれる「協働」のまちづくり

本市のまちづくりの基本的ルールを定めた「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」に基づき、市民参画や協働を推進する「市民主体のまちづくり」を推進します。地域課題の解決に向けて、多様なまちづくりの主体がゆるやかに関わり合い、自らの力を最大限発揮できるような社会の構築を目指します。

(2) 市民に信頼される「納得性」の高いまちづくり

市民との「対話」を常に意識し、説明責任を果たすための積極的な情報発信や意見交換などを通じて、市民との相互理解の深化に努めます。

また、政策の目的を明確化し、目的に沿った成果が出ているかどうかを客観的に分析・検証しながら、「根拠」に基づくまちづくりを展開し、市民の納得性を高めます。

(3) 時代の変化に対応した「住みよい」まちづくり

本市においても人口減少は避けられない問題であることを意識しながら、多様化・複雑化する行政ニーズに適切に対応し、時代に変化に応じた「住みやすさ」を追求したまちづくりを展開します。

4 将来人口の展望と目標人口

(1) 将来人口の展望

① 国立社会保障・人口問題研究所の推計準拠

本市においても 2010 年をピークに減少傾向に転じており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、今後もこの傾向が続くと想定した場合、本市の人口は、2030 年には 69,104 人、2065 年には 37,110 人程度まで減少すると予測されています。

② 国の見通しに基づき出生率の回復を前提とした推計

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン*▲」において示されている出生率の回復（合計特殊出生率を 2030 年に 1.8、2040 年に 2.07）を前提とした茨城県の「人口ビジョン」の人口見通しと同様の考え方に基づく推計では、本市の人口は、2030 年には 74,548 人、2065 年には 59,673 人となります。

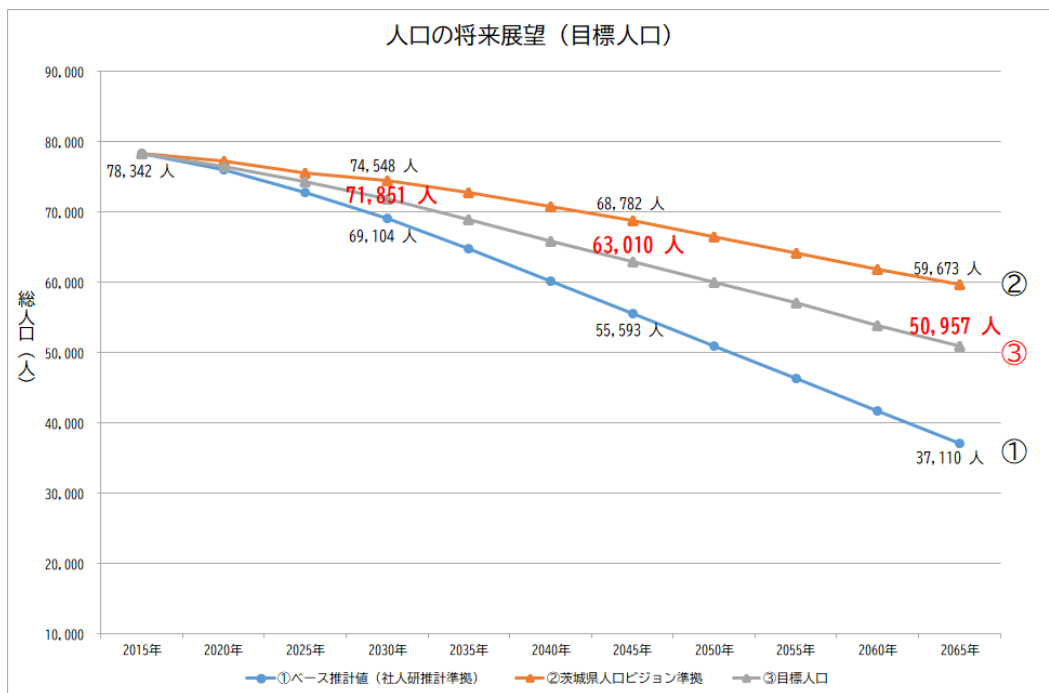
③ 本市の現状を踏まえた独自推計

本市においても人口減少傾向は加速しており、将来的にそのスピードを緩やかにしていくためには、国、県よりも低い合計特殊出生率の回復や若者世代の転出過多の改善に継続して取り組む必要があります。

出生率を国が見通す水準までに回復させることは現実的ではありません。そのため、国が見通す水準よりも時間をかけて回復させるとともに若者世代の転出抑制に力点を置いて本市の現状に即した推計を行うと、2030 年には 71,851 人、2065 年には 50,957 人となります。

第1章 将来ビジョン

図表11 人口の将来展望（目標人口）【出典：龍ヶ崎市人口ビジョン（令和3年度改訂版）】



(2) 目標人口

将来人口の展望を踏まえ、本市が将来的に持続可能な地域となる基盤を構築するため、本計画の計画期間終期となる2030年における目標人口を本市の現状を踏まえた独自推計に基づき、72,000人と設定します。

この目標人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計と比較して、人口減少を約3,000人抑制するものです。

目標達成のためには、出生数の増加や転入促進・転出抑制による人口移動の改善が必要となります。

そのため、出生数については、合計特殊出生率をベース値となる2020年の1.05から、2030年に1.50、2050年に人口が一定となる人口置換水準である2.10を目指します。

また、人口移動は、子育て世代の定住促進・転出抑制を図る施策の推進とともに、転出数が転入数を上回る転出超過の状況を30歳代まで均衡（ゼロ）にすることを目指します。ただし、本市にある流通経済大学の学生の卒業などの影響で、大幅に転出超過となる20歳代前半については、転出超過の状況を70パーセントに抑えることを目指します。

目標人口

《2030年の目標》

目標人口：72,000人

5 土地利用構想

(1) 基本的な考え方

豊かな自然環境と個性ある市街地が織りなす、本市独自のメリハリのある都市構造を活かし、各地域の特性に応じた質の高い空間を創造することにより、都市的快適性と自然環境が調和した土地利用を目指します。

また、今後の人口減少や高齢化の進行に的確に対応しながら、持続可能な都市づくりを進めていくため、各市街地に拠点地区の形成を進めるとともに、各市街地間のネットワーク性の向上を図ることにより必要な機能を補完し合う多極ネットワーク型コンパクトシティ*▲の形成を目指します。

(2) 土地利用の方針

① 安全・安心で住みよい環境の形成

地震、台風、洪水、崖崩れなどの自然災害や火災、交通事故などから市民の生命と財産を守るため、危険予測などを踏まえた計画的な都市機能の整備を推進し、より安全・安心で住みよい環境の形成を目指します。

② 魅力的で機能性の高い各種拠点の形成

住宅系市街地のそれぞれの中心地区を地域生活拠点、つくばの里工業団地とその周辺を産業拠点、牛久沼周辺を交流拠点、竜ヶ崎駅や市役所周辺及び龍ヶ崎市駅周辺を都市拠点と位置付け、それぞれの役割に応じた機能の集積を図り、魅力的で機能性の高い各種拠点の形成を目指します。

また、これらの拠点間の交通網の整備などによる連携や機能の補完により、バランスの取れた一体感のある都市の形成を目指します。

③ 快適で便利な市街地環境の形成

住宅系市街地においては、それぞれの市街地が持つ機能や特徴を活かした地域づくりを進めるとともに、地域生活拠点を中心に日常生活に必要な商業、サービス、コミュニティ等の機能の集積を図り、快適で便利な市街地環境の形成を目指します。

また、都市拠点や産業拠点においては、周辺環境との調和に十分配慮しながら、拠点にふさわしい土地利用を目指します。

さらに、主要道路のシンボルロード化や幹線道路整備などを踏まえるとともに、都市整備の基本的な考え方との整合性に十分留意しながら、地域活性化に向けた業務機能等の誘導を図るための土地利用を検討します。

第1章 将来ビジョン

④ 集落の生活環境の維持向上

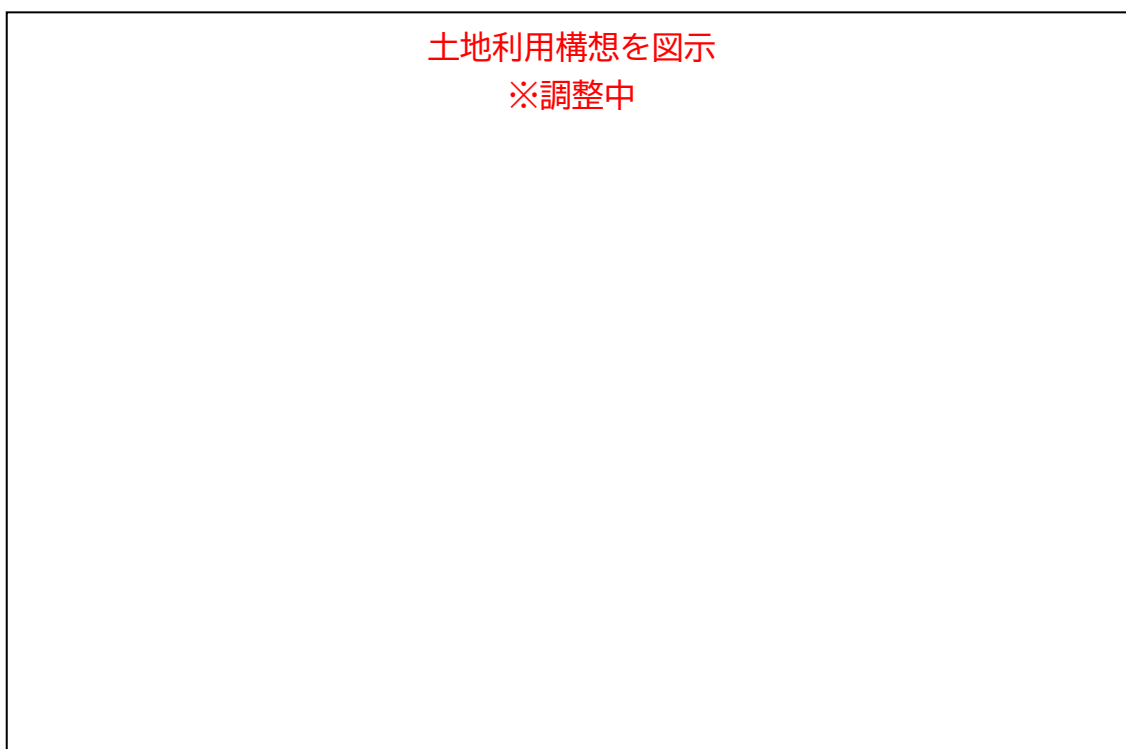
集落においては、日常生活に必要なインフラなど生活基盤施設の維持、特に地域生活拠点や都市拠点への移動手段の多様化などを図ることにより、人的交流を促進し、生活環境の維持向上を目指します。

⑤ 自然環境の保全と活用

貴重な地域資源である牛久沼、小貝川、蛇沼、中沼などの水辺環境、斜面緑地や台地上の緑地については、その保全に努めるとともに、生活に潤いや安らぎを与える触れ合いや交流の場として活用を目指します。

また、農地については、豊かな農産物を生み出す場として、さらには良好な景観を形成する要素として、その保全と活用を目指します。

図表12 土地利用構想



6 政策の柱と施策（施策の大綱）

7つの政策の柱

(1) 子どもが健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり

- ◆ 喜びを実感しながら安心して子どもを産み、育てることができるよう、子育て世代への支援を充実するとともに地域や社会全体で子育てを応援する環境づくりを推進します。
- ◆ 子どもたちの確かな学力の定着と体力の向上、豊かな心の育成を図り、一人ひとりの夢や希望の実現に向けて、時代の変化に対応できる生きる力を育みます。
- ◆ 若者世代が地域社会の担い手として参加、活躍できる環境づくりを推進するとともに、定住促進に向けた幅広い視点での支援を行います。

施策

- (1) 子ども・子育て支援の充実
- (2) 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進
- (3) 若者世代の活躍支援と定住促進

(2) まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり

- ◆ 地域経済を担う市内事業者・農業者の活発な事業活動や新規創業・起業を促進するため、経営基盤の安定に向けて多様な主体と連携した支援に努めます。また、地域製品のブランド化や、それらに通じる事業者、生産者、消費者の交流機会を創出し、地域経済の活性化を進めます。
- ◆ 牛久沼に代表される自然環境、歴史や伝統を感じさせる街並みや行事、大学があるまちであることの強みなど、龍ヶ崎固有の地域資源を最大限活かしながら、観光コンテンツ*▲の充実を図り、交流人口や関係人口の増加とにぎわいづくりを推進します。

施策

- (1) 地域経済の活性化
- (2) 多様な働き方と働く場の創出
- (3) 地域資源を活用した観光まちづくりの推進
- (4) 流通経済大学との連携の推進

第1章 将来ビジョン

(3) 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり

- ◆ 年齢や障がいのあるなしにかかわらず、誰もが住み慣れた地域でいきいきと自分らしい生活を送ることができるよう、相談支援体制の充実に取り組むとともに、多様な居場所や活躍の場づくりなど、地域で支え合う仕組みづくりを推進します。
- ◆ 乳幼児から高齢者にいたるまでライフステージ*▲に応じた保健サービスの充実を図るとともに、市民自らの主体的な健康づくりを促進し、健康で暮らし続けることができる健康長寿社会の構築を目指します。
- ◆ 地域医療体制の強化と新たな感染症などに迅速に対応できる体制づくりを推進します。

施 策

- (1) 支え合う地域福祉の実現
- (2) 健康長寿社会の実現
- (3) 地域医療体制・感染症対策の強化
- (4) 社会保障制度の適正な運営

(4) 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり

- ◆ 流通経済大学や関係団体と連携しながら、誰もが気軽にスポーツに親しみ触れることのできる環境の充実を図り、心身ともに健全に充実した暮らしが享受されるよう努めます。
- ◆ 子どもから高齢者まで、生涯にわたって豊かな人生を送ることができるよう、それぞれのニーズ*▲に応えられる学習の機会や場を創出し、その成果が活かせるよう生涯学習環境の充実を図ります。
- ◆ 市内に残る貴重な歴史や文化を守り育て、活用することで、次代に継承し、愛着と誇りを育みます。
- ◆ 人権尊重や平和に対する意識を高め、性別や国籍、文化、価値観などの違いをお互いが正しく理解し、誰もが幸せに暮らすことができる多様性が保障された社会の構築に努めます。

施 策

- (1) スポーツ都市の推進
- (2) 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進
- (3) 多様性を認め尊重し合う、多文化共生社会の実現

第1章 将来ビジョン

(5) 安全・安心が実感できるまちづくり

- ◆ 大規模な自然災害などの発生時の被害を最小限にとどめるため、市と関係機関、市民・地域が一体となった総合的な防災・減災体制の強化を図るとともに、社会インフラ*▲や行政機能等が維持される「強さ」と迅速な復旧、復興が可能となる「しなやかさ」を持った災害に強いまちづくりを推進します。
- ◆ 警察など、関係団体や地域活動と連携した防犯・交通安全対策を強化し、犯罪や事件・事故などの起こりにくい環境整備を進め、安全・安心な市民生活を確保します。

施 策

- (1) 防災・減災対策の推進
- (2) 消防・救命体制の充実
- (3) 暮らしの安全・安心の確保

(6) 機能的で、利便性が高いまちづくり

- ◆ 将来にわたって日常生活に必要な店舗やサービスが身近に確保され快適に暮らせる生活環境を維持していくため、地域生活拠点への都市機能の集積と、誰もが利用しやすい公共交通体系の構築により、人口減少や高齢化に対応した持続可能な都市空間づくりに努めます。
- ◆ つくばの里工業団地とその周辺地域を含む産業拠点においては広域交通網へのアクセス*▲性の向上を見据えた機能強化を図り、牛久沼周辺の交流拠点においては周辺自治体と連携したにぎわいの創出に向けた取組を推進します。
- ◆ 住宅地においては、多様なニーズに対応した住宅供給と魅力ある住環境の維持・形成を促進するとともに、空家等の有効活用を推進します。

施 策

- (1) 魅力ある都市拠点の形成
- (2) 快適でシームレスな移動環境の構築
- (3) 良好な住環境の維持・創出

第1章 将来ビジョン

(7) 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり

- ◆ カーボンニュートラルや循環型社会形成の取組など、市民・市民団体・事業者などと協働して、環境にやさしいまちづくりを推進します。
- ◆ 本市の魅力の一つである水や緑に恵まれた豊かな自然を次の世代へと引き継いでいくため、自然環境の保全と環境の美化に取り組みます。
- ◆ 快適な市民生活を支える道路、公園、下水道などの都市インフラの維持・更新と長寿命化を計画的に進めるとともに、歩行者や自転車の安全性の確保、大規模公園のさらなる魅力向上など、市民ニーズに対応した施設整備を推進します。

施策

- (1) 環境負荷の少ない地域社会の形成
- (2) 自然環境の保全
- (3) 計画的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備

政策実現に向けた横断的取組

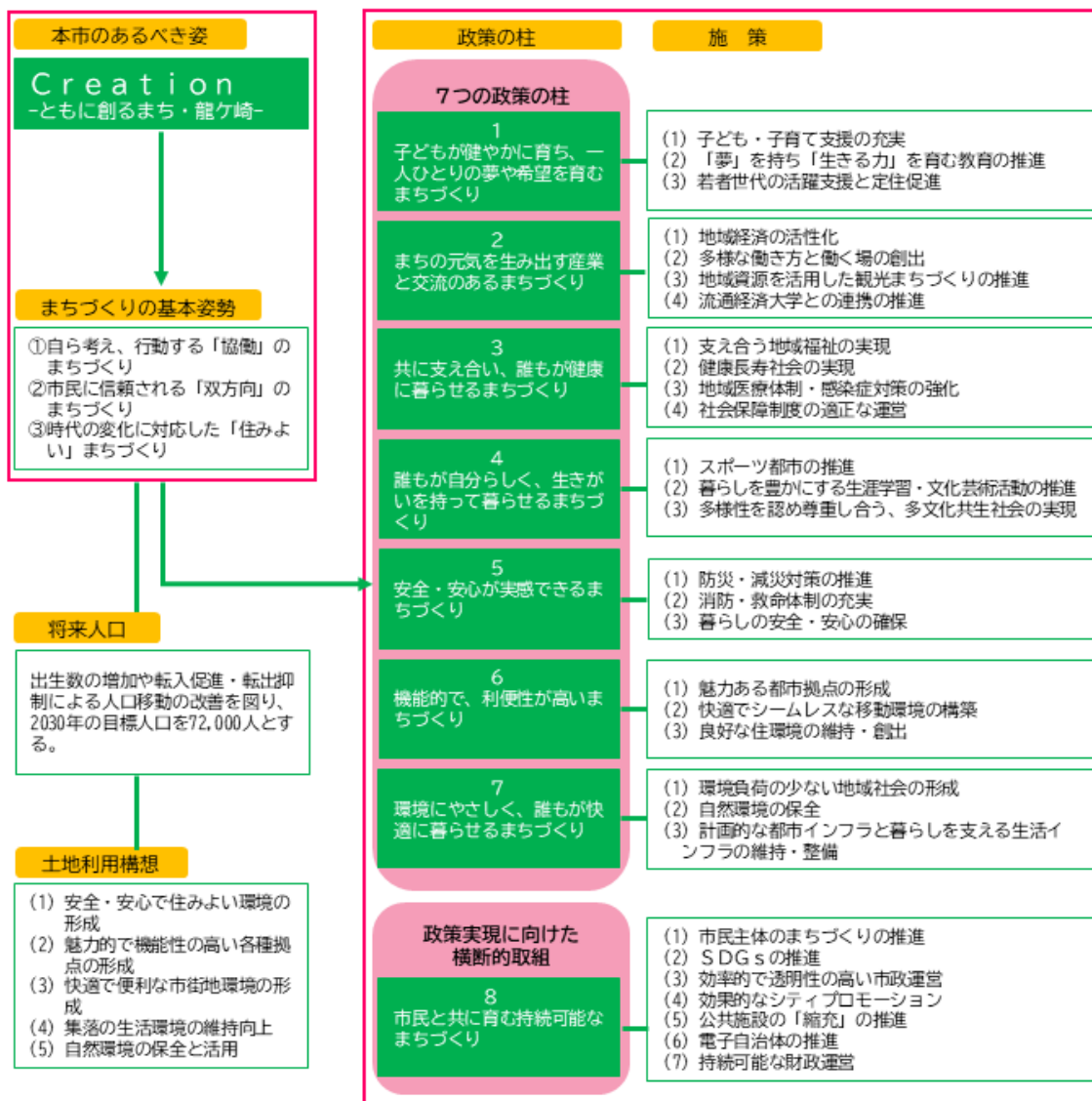
(8) 市民と共に育む持続可能なまちづくり

- ◆ 多様化・複雑化する地域課題の解決に向けて、市民と行政がまちづくりのパートナーとして適切な役割分担と信頼関係の下、協働によるまちづくりを進めます。
- ◆ 分かりやすく伝わりやすい市政情報の発信や市民との意見交換の場の確保など「開かれた市役所」づくりを推進するとともに、積極的なシティプロモーション*▲活動を展開し、本市の魅力を内外に発信します。
- ◆ 効率的で質の高い行政サービスの提供に努めるとともに、選択と集中の視点を重視した適正な資源配分と新たな財源の創出に取り組み、健全な財政基盤の構築を図ります。

施策

- (1) 市民主体のまちづくりの推進
- (2) SDGsの推進
- (3) 効率的で透明性の高い市政運営
- (4) 効果的なシティプロモーション
- (5) 公共施設の「縮充」の推進
- (6) 電子自治体の推進
- (7) 持続可能な財政運営

図表 1.3 政策の体系の全体構成



～第2章～

前期基本計画

1 計画期間

「前期基本計画」は、「将来ビジョン」においてその役割を、基本的な施策の方向と体系、主要な事業や優先プロジェクトなどを示すものと位置付け、計画期間を2023年1月から2027年3月までの概ね4年間とします。

2 まち・ひと・しごと総合戦略との関係

「前期基本計画」は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく、まち・ひと・しごと創生（地方創生）に関する取組の基本的な計画として「龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包括するものとして位置付けます。

3 施策の体系

「将来ビジョン」において示した、「政策の柱」（7つの政策の柱と政策実現に向けた横断的取組）と「施策」に対して、計画期間中に取り組んでいく74の「施策の展開方向」を設定し、本市のあるべき姿を目指していきます。

7つの政策の柱

政策の柱	施策	施策の展開方向	関連する分野別計画
1 子どもが健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	(1) 子ども・子育て支援の充実	① 質の高い幼児教育・保育の確保	・第2期こども・子育て支援事業計画 ・障がい者プラン ・第3次健康増進・食育計画 ・教育プラン
		② 地域での子育て環境の充実	
		③ 誰もが健やかにいきいきと育つ環境づくり	
		④ 魅力ある子どもの交流活動の促進	
		⑤ 子育て世代への経済的支援	
		⑥ 少子化への対策の推進	
	(2) 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進	① 魅力があり、信頼される学校づくりの推進	・教育プラン
		② 共生社会に向けた教育活動の充実	
		③ 健康で健全な心身の発達を育む教育の推進	
		④ 新時代に活躍する人材の育成	
	(3) 若者世代の活躍支援と定住促進	① 青少年の健全育成	・教育プラン
		② 若者世代の活躍支援と定住促進	

第2章 前期基本計画

2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	(1) 地域経済の活性化	① 商業の振興と中小企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか再生プラン ・農業振興地域整備計画 ・経営基盤の強化の促進に関する基本構想 ・人・農地プラン ・地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン 	
		② 農業の振興		
		③ 工業の振興		
	(2) 多様な働き方と働く場の創出	① 雇用の場の確保と地元就職の促進		
		② 創業・起業への支援		
		③ 多様な働き方に向けた場の創出		
	(3) 地域資源を活用した観光まちづくりの推進	① 観光・にぎわいづくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン ・緑の基本計画 ・牛久沼感幸地構想
		② 交流の拠点としての牛久沼の有効活用		
		③ 大規模公園を活用した交流人口増加の推進		
	(4) 流通経済大学との連携の推進	① 大学（学生）と市民の交流促進		
		② 学生の住みやすさ向上と愛着の醸成		
		③ 大学との連携の強化		
3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	(1) 支え合う地域福祉の実現	① 支え合う地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期地域福祉計画 ・障がい者プラン ・高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 ・いのちを支える自殺対策計画 ・高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 ・第3次健康増進・食育計画 ・第3次健康増進・食育計画 ・第2期地域福祉計画 ・障がい者プラン ・高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 	
		② 障がい者福祉の充実		
		③ 高齢者福祉の充実		
	(2) 健康長寿社会の実現	① 健康づくり基盤の強化		
		② 健康長寿社会の推進		
	(3) 地域医療体制・感染症対策の強化	① 地域医療体制の充実		
		② 予防接種・感染症対策の強化		
	(4) 社会保障制度の適正な運営	① 社会保障制度の健全な運営		
② 医療費の適正化				
③ 生活の安定化と向上				
4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	(1) スポーツ都市の推進	① スポーツ・運動を通じた生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次スポーツ推進計画 	
		② 競技スポーツの推進		
		③ スポーツ環境の充実		
		④ プロスポーツなどとの連携によるにぎわいづくり		
	(2) 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進	① 市民の学びの機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育プラン 	
		② 暮らしを豊かにする文化芸術活動の促進		
		③ 歴史的・文化的遺産の保存と地域資源としての活用促進		
	(3) 多様性を認め尊重し合う、多文化共生社会の実現	① 男女共同参画社会・女性活躍社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画基本計画 ・第4期特定事業主行動計画 	
		② 多文化共生社会の構築		
③ 人権を尊重して多様性を認め合う社会の構築				
5 安全・安心が実感できるまちづくり	(1) 防災・減災対策の推進	① 防災力・減災力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画 ・国土強靱化計画 ・耐震改修促進計画 ・都市計画マスタープラン ・下水道施設耐水化計画 ・地域防災計画 	
		② 地域の防災活動の充実		
		③ 国土強靱化の推進		
	(2) 消防・救命体制の充実	① 消防団を中核とした地域防災力の向上		
		② 安心の救命体制の充実		
	(3) 暮らしの安全・安心の確保	① 地域の防犯体制の充実		
		② 交通安全環境の向上		
		③ 消費者教育の充実		

第2章 前期基本計画

6 機能的で、利便性 が高いまちづく り	(1) 魅力ある都市拠点 の形成	① 生活を支える地域生活拠点と魅力を生み出 す都市拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン ・立地適正化計画 ・地域公共交通計画 ・まちなか再生プラン ・牛久沼感幸地構想
		② 活力と雇用を生み出す産業拠点の形成	
		③ にぎわいのある交流拠点の整備	
	(2) 快適でシームレス な移動環境の構築	① 持続可能で効率的な公共交通の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画
		② 公共交通ネットワークの構築	
		③ 基幹公共交通の維持	
		④ 新たな公共交通システムの導入	
		⑤ 放置自転車対策と適正な駐輪場の配置	
	(3) 良好な住環境の維 持・創出	① 良好な住環境の形成と良質な住宅の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン ・立地適正化計画 ・空家等対策計画
② 空家等対策の推進			
③ 市営住宅の計画的な予防保全と長寿命化			
7 環境にやさしく、 誰もが快適に暮 らせるまちづく り	(1) 環境負荷の少ない 地域社会の形成	① カーボン・ニュートラルの実現に向けた対 策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次環境基本計画 ・第4次地球温暖化防止実 行計画 ・ごみ処理基本計画
		② 循環型社会構築に向けたごみの発生抑制の推進	
		③ 循環型社会構築に向けたリサイクルの推進	
		④ 環境学習の推進	
		⑤ 環境にやさしい農業の推進	
	(2) 自然環境の保全	① 自然環境及び里山の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次環境基本計画
		② 水辺環境の保全	
		③ 特定外来生物への適切な対応	
		④ 環境美化の推進	
	(3) 計画的な都市イン フラと暮らしを支 える生活インフラ の維持・整備	① 機能に応じた道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン ・下水道全体計画 ・舗装維持修繕計画 ・橋梁長寿命化修繕計画 ・公園施設長寿命化計画
		② 市民に愛される公園の整備・活用	
		③ 汚水処理施設の計画的な維持・管理	

第2章 前期基本計画

政策実現に向けた横断的取組

政策の柱	施策	施策の展開方向	関連する分野別計画
8 市民と共に育む 持続可能なまち づくり	(1) 市民主体のまちづくりの推進	① 市民と行政の相互理解・情報共有の強化	
		② 市民自らが考え、行動する、活発な市民活動の促進	
		③ 地域における市民活動の活性化	
	(2) SDGsの推進	① SDGsによるまちづくり	
		② SDGsの機運醸成	
	(3) 効率的で透明性の高い市政運営	① 事務事業の見直し	・第3次人材育成基本計画
		② 民間サービスの活用	
		③ 行政サービスの広域的な取組	
		④ 人員の確保と人材育成支援	
	(4) 効果的なシティプロモーション	① シビックプライドを向上させるシティプロモーションの展開	
		② 関係人口の創出の推進	
		③ 定住促進に向けたプロモーション活動の展開	
	(5) 公共施設の「縮充」の推進	① 効果的・効率的な維持管理の推進	・公共施設再編成の基本方針 ・公共施設再編成の基本方針に基づく第2期行動計画 ・公共施設跡地活用方針
		② 施設機能・事業運営の最適化の推進	
		③ 施設配置・保有量の最適化	
	(6) 電子自治体の推進	① 推進体制の構築	・情報化推進プラン
		② 自治体情報システムの標準化・共通化	
		③ 行政手続のオンライン化	
		④ デジタルデバイド対策	
	(7) 持続可能な財政運営	① 中期的な視点による財政運営	・第2次中期財政計画
		② 市税等の適正課税の推進と納税環境の整備	
③ 分かりやすい財政状況の情報発信			

4 優先プロジェクト

【優先プロジェクト】

政策の柱について優先プロジェクトを設定
調整中

5 基本計画

政策の柱

1 子どもが健やかに育ち、
一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり

【代表的なSDGsとの関連】



施策

(1) 子ども・子育て支援の充実

<施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ>

- ・ 子どもの成長と子育て世代を地域全体で応援する環境が整っています。
- ・ 喜びを実感しながら安心して子どもを産み育てることができるまち、というイメージが定着しています。

① 現状と課題

- ◆ 保育に対する需要は、需要に対して供給ができており、年度当初での待機児童数は、発生していません。
- ◆ 保育に対するニーズは多様化しており、サービスの充実が求められています。そのためには、地域全体で子育てを支援する環境を整え、相談や交流の機会を確保するなど、親の子育てに対する不安の解消や多様なニーズへの対応策が必要となっています。
- ◆ 子育て世代からは、本市は「住みよいまち」「子育てしやすいまち」として一定の評価はされているものの、一方で、出生率については、国や茨城県よりも低いレベルで推移しており、積極的な少子化対策への対応が急務となっています。

② 施策の展開方向

施策の展開方向	方向性
① 質の高い幼児教育・保育の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 保育や幼児教育を維持するため、保育士や幼稚園教諭などの人材を確保します。 ◆ 子育てニーズの多様性に対応できる保育提供体制を確保します。
② 地域での子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域での孤立を防止し、子育てへの不安や負担感を払しょくします。 ◆ 子どもの発達段階に応じた適切な支援を行います。 ◆ 親同士や親と地域の交流機会を確保します。
③ 誰もが健やかにいき	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 専門的見地からの妊娠から出産、子育てまでの切

第2章 前期基本計画

いきと育つ環境づくり	<p>れ目のない支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 誰もが子育てしやすい環境を創ります。 ◆ 児童虐待や子どもの貧困など、社会的な問題へ適切に対応します。
④ 魅力ある子どもの交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子ども同士の交流、子どもと大人・地域との交流を活発化します。 ◆ 民間や地域との連携による市民主体の子育て交流活動を促進します。 ◆ 交流活動に対する情報の発信を強化し、多くの子育て世代に参加してもらえる活動にします。
⑤ 子育て世代への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもを産み育てるために必要な経済的な後押しをします。 ◆ 大幅に減少している出生数をこれ以上減らさないため、子どもを産んだ後の将来に対する経済的な不安を払しょくします。
⑥ 少子化への対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大幅に減少している出生数をこれ以上減らさないために、組織立った積極的な少子化対策への対応を行います。

③ 成果指標

指標名	出典	ベース値	目標値
子育てしやすいまちであると 感じる市民の割合	まちづくり市民アンケート	48.3% [2021年]	50.0% [2026年]
妊娠・出産の支援に対し満足 している市民の割合	3・4か月児健診アンケート	% [20**年]	% [20**年]
小学校入学前の子どもたちへの 教育内容・施設への満足度	まちづくり市民アンケート	31.4% [2021年]	35.0% [2026年]

【コラムや写真など】

施策の推進に関連する内容のコラムや写真を掲載する。
調整中

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	1 子どもが健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	主管課	こども家庭課, 健康増進課, 社会福祉課, 教育総務課, 文化・生涯学習課
施策	(1) 子ども・子育て支援の充実	分野	子育て支援, 保育, 子どもの読書活動, 学童保育, 学習機会の確保, 子どもの居場所づくり, 子どもの地域活動, 子どもの貧困, 妊産から出産・育児までの切れ目のない支援, 児童虐待, 障がい児支援

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童数はゼロを継続 合計特殊出生率は国、県よりも低いレベルで推移。年少人口は減少基調 保育及び預かりサービスに関するニーズの多様化 学童保育ルームなど、一部では民間委託による効率性の向上がみられる。 「住みよいまち」「子育てしやすいまち」としての市民の評価は一定程度得ている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 保育、預かりサービスの充実 地域全体で子どもたちの健全育成に携わる環境づくり 親の子育てに対する不安の解消 子育てに関するニーズの把握と分析を行う必要性
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> さらなる少子化の進行 地域とのつながりの希薄化 ワークライフバランスの進展 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応じた保育、預かりサービスの展開 出生率、出生数の増加に向けた取組の強化 子育てに関する相談、支援体制の強化

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長と子育て世代を地域全体で応援する環境が整っています。 喜びを実感しながら安心して子どもを産み育てることができるまち、というイメージが定着しています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
質の高い幼児教育・保育の確保	<ul style="list-style-type: none"> 保育や幼児教育の維持のための保育士・幼稚園教諭などの人材確保 市民のニーズの多様性に対応できる保育提供体制の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士等の資格取得・就労支援（修学資金貸付・家賃補助等） 延長保育・一時預かり事業 多様な保育ニーズに沿った民間の保育施設等の設置・サービスの拡充 	
地域での子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域での孤立を防止し、子育てへの不安や負担感の払しょく 子どもの発達段階に応じた適切な支援 親同士、親と地域の交流機会の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育ルームの運営 子育て支援センターの運営（民間を含む。） ファミリー・サポート・センター事業・リフレッシュ保育 子育て支援コンシェルジュなどによる相談体制の確保 課外時間での学習機会（サタデースクール等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの検討
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

誰もが健やかにいきいきと育つ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的見地からの妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援 ・誰もが子育てしやすい環境の創出 ・児童虐待や子どもの貧困など、社会的な問題への適切な対応 ・組織横断的な相談体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健診・乳幼児健康診査（発達障がい、発育などに対する問題の早期発見のための検診などを含む。） ・乳幼児家庭の全戸訪問、妊産婦及び家族への相談体制の確保 ・産前・産後へのサポート（マタニティタクシーなど） ・児童虐待の防止対策 ・障がいや発達に課題のある子どもへの支援（つぼみ園など） ・貧困世帯の子どもへの学習支援・居場所づくり事業への支援 ・子育て家庭への経済的負担の軽減（就学援助、預かり保育等助成） 	・ヤングケアラーへの対応（実態調査など）
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
魅力ある子どもの交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の交流、子どもと大人・地域との交流を活発化 ・民間や地域との連携による、市民主体の活動の促進 ・情報の発信を強化し、子育てしやすいまちのイメージの定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人等による子どもの居場所づくり事業 ・子どもの遊びの拠点づくり事業（たつのこプレイパーク等） ・地域と子どもの関わり合い（子ども向け講座、地域活動への参加など） ・子どもの広場・移動教室 	・公共施設の空きスペース等を活用した子どもの遊び場づくり（子どものアイデア募集し、アイデアを反映）
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
子育て世代への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・大幅に減少している出生数をこれ以上減らさない ・子どもを出産するための後押し 		<ul style="list-style-type: none"> ・家事支援 ・第2子への支援など（財源としてのふるさと納税の活用）
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
少子化への対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・出生数の大幅な減少傾向が続いており、合計特殊出生率が1.05 ・子どもの出生に関しては、危機的状況 		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭センターの設置 ・家事支援

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
子育てしやすいまちであると感じる市民の割合	まちづくり市民アンケート	48.3	%
妊娠・出産の支援に対し満足している市民の割合	3～4か月児健診アンケート		
小学校入学前の子どもたちへの教育内容・施設への満足度	まちづくり市民アンケート	31.4	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
障がい者プラン			<ul style="list-style-type: none"> ・第2期子ども・子育て支援事業計画 ・教育プラン
第3次健康増進・食育計画			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	1 子どもが健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	主管課	教育総務課, 指導課, 文化・生涯学習課, 教育センター, 学校給食センター, 法制総務課
施策	(2) 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進	分野	学校教育, 特色ある教育活動, 小中一貫教育, 適正規模適正配置, 龍の子人づくり学習, 平和教育, インクルーシブ教育, 給食・食育

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の減少に伴い適正規模適正配置が進展 ・ICT環境の一定の整備が完了 ・英語教育やプログラミングなど特徴的な取組が期待されている ・多様化する児童生徒や保護者の就学に関する問題への適切な対応ができていない。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・適正規模・適正配置の推進 ・学校施設の長寿命化 ・特色ある教育活動の展開 ・多様化・複雑化する就学困難事例への対応 ・GIGAスクール構想の推進
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の一層の減少 ・学校施設の老朽化 ・教師の働き方改革の進展 ・学校のグローバル化と Society5.0 の実現化 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・適正規模・適正配置の推進 ・学校施設の長寿命化 ・特色ある教育活動の展開 ・地域社会や大学等との連携 ・グローバル社会を生き抜く人材の育成 ・小中一貫教育の推進

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりが夢や目標に向かって努力する力を身につけています。 ・時代の変化に対応できる「生きる力」を育むための環境が学校や地域全体で整っており、魅力ある教育が行われています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
魅力があり、信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の影響による教育環境の整備 ・魅力的な特徴ある教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育 (龍の子人づくり学習) ・小中一貫校の整備 ・適正規模適正配置 ・少人数教育の充実 ・校務の効率化・教職員の働き方改革 ・学校施設の長寿命化 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校同士や高等学校との連携・交流
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
共生社会に向けた教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会での役割の認識の向上 ・学校以外の多様なステークホルダーとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・シティズンシップ教育の推進 ・教育の日推進事業 ・平和教育・人権教育・道徳教育の充実 ・郷土学習の推進 ・インクルーシブ教育の推進 ・地域との交流事業 ・スクール・ソーシャル・ワーカー等の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・市政への参画機会の確保

		・特別支援教育	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
健康で健全な心身の発達を育む教育の推進	・切れ目なく継続的な支援	・児童生徒の体力の向上 ・部活動の適正化 ・健康に関する知識の普及 ・給食の提供と食育学習（市産・県産食品の活用） ・第3子への給食費免除	・部活動の支援のための部活動指導員の設置 ・地域部活動への移行
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
新時代に活躍する人材の育成	・魅力的な特徴ある教育活動の推進 ・児童生徒の多様性を意識し、活かすことができる教育体制の整備	・外国語活動・外国語指導の充実 ・ICT教育の推進 ・キャリア教育の推進	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
小中学校の教育内容・施設への満足度	まちづくり市民アンケート	32.5	%
給食がおいしいと感じる子どもの割合	（学校給食センター調査）		

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
			・教育プラン

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	1 子どもが健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	主管課	教育総務課, 文化・生涯学習課, 法制総務課, まちの魅力創造課
施策	(3) 若者世代の活躍支援	分野	青少年育成, 子ども会活動, 成人式, 奨学金制度, 若者の市政参画, 有権者教育, 婚活支援, 結婚支援, 移住支援

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	・青少年育成や若者の活躍支援の取組をしているものの, 若者の人口流出の状況は継続している。	課題	・取組の成果を評価しながら, 事業の効率性を高める必要性 ・若者の定住と流出防止を図る効果的な施策が必要
将来予測	・市への愛着を高め, 若者に必要な施策を展開することで, 定住・人口流出の抑制が図られる。	今後の方向性	・若者に魅力あるまちとなるように, 住み続けてもらえるために必要な施策を展開 ・若者の市政への参画の機会を創出する ・都心からリターンし, 定住してもらえるような取組の展開

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

・若者が地域社会の一員として地域に「関わりたい」気持ちが高まり, 様々な活動に主体的に取り組み, 活躍しています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
青少年の健全育成	・成人式については, 交流促進を図るための手法を検討	・青少年センターの運営 ・子ども会活動への支援 ・成人式への支援 ・青少年育成市民会議への支援	・成人式を「20歳のつどい」への改変
若者世代の活躍支援と定住促進	・若者の定住・流出防止を図る効果的な施策を展開 ・まちづくりを担う核となる人材の育成 ・間接的に親へのアプローチを意識	・有権者教育 (18歳選挙権の出前授業など) ・奨学金制度の運用 ・婚活支援 ・移住支援 (移住支援金, 移住ツアー) ・若者・子育て世代住宅取得補助	・若者の市政参画の機会の創出 ・結婚 (新婚) 支援 ・奨学金返済支援制度 ・UIターンへの支援 ・高校との連携 (出前授業, 政策立案への参加など)
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
市民の参画意欲（18歳～39歳）	まちづくり市民アンケート	-46.8	(NPS)
市民の推奨意欲（18歳～39歳）	まちづくり市民アンケート	-52.4	(NPS)
市民の感謝意欲（18歳～39歳）	まちづくり市民アンケート	43.7	(NPS)
若者・子育て世代住宅取得補助の利用者の満足度	（まちの魅力創造課調査）		%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
			・教育プラン

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	主管課	商工観光課, 農業政策課, 企画課
施策	(1) 地域経済の活性化	分野	商業活性化、市産品・市産農産物の販路拡大, まちなか再生, 産直市場, ICT化, 儲かる農業, 工業団地

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 市産品のブランド化と併せ, 製品開発などの取組みを実施 新型コロナウイルス感染症の影響による経済的ダメージは深刻 後継者不足など, 基幹産業への持続可能性が懸念 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 雇用を生み出す視点を持った新たな産業の掘り起こし 後継者不足など, 経営の維持に対する支援が必要 「儲かる」視点を持ち, 施策の効率性を高める。
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 地方への移住や企業の拠点移動などの動向を注視 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市産商品や農産品の良さを知ってもらう・買ってもらう取組の強化 地域産業や農業の持続可能性を考え, 「儲かる」視点

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> 事業者・農業者の安定した経営基盤が整っており, 活発な商取引が行われ, まちににぎわいが生まれています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
商業の振興と中小企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の維持を図るための必要な施策を実施 事業者の自発性を促す取組 購買者の視点を持った取組 	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎産品の販路拡大 中小企業事業資金あつ旋 展示会等への出展補助 まちづくりクラウドファンディング応援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の活用 ショッピングセンターと連携した地域産業活性化への取組 教育と地域産業との連携 (就業体験時の報償としての地域通貨の導入など) 決済のICT化の推進 中小企業振興基本計画の策定
		<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎ブランド農産品の認証 市産農産物を使った製品開発 食と農のアンバサダー たつのこ産直市場の運営 若者農業者への支援 主食米以外への転換支援、畑作への支援 農地の集積 農業公園「豊作村」の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 儲かる農業へのシフトの推進 畑作支援の見直し
農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 儲かる農業の視点を常に持つ ICT化など, 農業者人口の高齢化や減少を意識した効率化への支援 後継者不足、耕作放棄地、農産物の認知度向上、ブランド農産物の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎ブランド農産品の認証 市産農産物を使った製品開発 食と農のアンバサダー たつのこ産直市場の運営 若者農業者への支援 主食米以外への転換支援、畑作への支援 農地の集積 農業公園「豊作村」の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 儲かる農業へのシフトの推進 畑作支援の見直し
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名

工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の創出のための視点 周辺環境との調和 	<ul style="list-style-type: none"> つくばの里工業団地の維持 つくばの里工業団地連絡協議会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな産業用地確保に向けた働きかけ
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
農業の振興への満足度	まちづくり市民アンケート	16.0	%
工業の振興への満足度	まちづくり市民アンケート	16.1	%
商店街への支援や商業の活性化への満足度	まちづくり市民アンケート	20.1	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
			<ul style="list-style-type: none"> まちなか再生プラン 農業振興地域整備計画 経営基盤の強化の促進に関する基本構想 人・農地プラン 地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	主管課	商工観光課, 企画課
施策	(2) 多様な働き方と働く場の創出	分野	雇用の創出, 就職支援, 企業誘致, 創業・起業, コワーキングスペース, テレワーク, ワークেশョン

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の場が限定的で、若者の市外への流出が顕著 創業・起業に関する支援が実施されており、レンタルスペースの運営もされている。 テレワーク等、新たな働き方が登場し、対応が始まっている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 若者の市内への就職数が少ない 創業・起業に関するノウハウを有した人材の不足 テレワーク等の新たな働き方への対応
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 若者に魅力のある雇用の場が創出されないと、人口の流出傾向は継続すると想定 社会の情勢の変化が激しく、それに臨機応変に対応しなければならない。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業などと連携した幅広い就業先の確保と周知活動の徹底 取組の「核」となる民間人材の確保・育成 社会の変化に伴う新たな働き方への適切な対応

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> まちに多様な人たちの交流機会の場が創られており、市内に新たなビジネスが生まれています。 身近な場所に選択が可能な働く場が提供されています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
雇用の場の確保と地元就職の促進	<ul style="list-style-type: none"> 新たな雇用を生み出す取組を推進 若者の市外への流出防止 	<ul style="list-style-type: none"> 合同説明会・企業訪問学習会など雇用の機会の確保 企業立地促進・既存企業の支援（企業立地促進奨励金） 就職・転職フェアの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市内高校卒業生の地元就職への支援
創業・起業への支援	<ul style="list-style-type: none"> 創業者同士や創業したい方をつなぐことで、創業・起業の機運が増幅する仕組みを検討 	<ul style="list-style-type: none"> 創業スクールなど創業・起業したい方への支援 レンタルオフィス「Match-hako」の運営 創業促進補助金 ビジネスコンテストの開催 「龍ヶ崎商工会及び茨城県よろず支援拠点相談員」による創業・起業に関する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 創業・起業をコーディネートする人材の育成
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

多様な働き方に向けた場の創出	・民間の発想や力を活用	・テレワークスペース等整備促進補助金 ・テレワークスペース等活用促進支援金	・民間人材を活かした交流拠点づくり ・ワーケーションの推進
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
就労支援や企業誘致など雇用の創出への満足度	まちづくり市民アンケート	9.8	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	主管課	商工観光課, まちの魅力創造課, 都市施設課, スポーツ都市推進課, 農業政策課
施策	(3) 地域資源を活用した観光まちづくりの推進	分野	観光, 撞舞などの祭礼, 観光アンバサダー, 牛久沼, 牛久沼トレイル, 森林公園, 大規模公園, 北海道×茨城県プロジェクト

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・撞舞などの祭礼を活用し, 観光客を呼び込む施策を実施しているが, 交流人口の大幅な増加にはつながっていない。 ・牛久沼などの自然環境, スポーツなどの人的資源を活用していく検討をはじめている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の観光資源だけでは, これ以上の交流人口の増加に向け, 新たな観光資源の発掘が急務となっている。 ・ソフト事業の展開による観光資源化なども検討し, 視点を変えていく必要性
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の観光資源だけでなく, 人的資源を活用することや民間との連携により新たな観光資源を生み出すことが必要であり, そのような取組によって交流人口は増加していく。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口を増加させるため, 市の持つ観光資源を発掘し, 創出する。 ・牛久沼や森林公園などの特徴的な地域資源を活用した取組を検討 ・スポーツを軸としたにぎわいづくりを推進

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

・市の持つ様々な地域資源が活用され, 多くの人が訪れるまちになっています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
観光・にぎわいづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の掘り起こし ・民間との連携による対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・撞舞など祭礼を活用した交流人口の増加 ・観光物産協会と連携した観光アンバサダーなどによる周知 PR ・観光資源の掘り起こし ・湯ったり館の運営 ・龍ヶ崎コロツケのPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業の展開による観光資源化 ・外国人観光客への対応 ・地域活性化イベントの実施
交流の拠点としての牛久沼の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・牛久沼周辺を全体的に捉えた活用方針の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛久沼周辺首長会議の運営 ・牛久沼水辺公園の活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛久沼トレイル (ポタリングなど)
大規模公園を活用した交流人口増加の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に魅力を感じてもらえる内容を検討 ・公園自体の持つ特徴を活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林公園のリニューアル ・龍ヶ岡公園, 北竜台公園などの活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林公園の活用 (Park-PFI)
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案

		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
地域資源を活用した観光の推進への満足度	まちづくり市民アンケート	14.2	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
都市計画マスタープラン			
緑の基本計画			
牛久沼感幸地構想			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	主管課	まちの魅力創造課, 商工観光課, 指導課, 文化・生涯学習課
施策	(4) 流通経済大学との連携の推進	分野	龍・流連携事業, 市民大学講座, 流通経済大学運動部との連携, 地元就職の促進, 観光ルートの開発, 学生割引サービス

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 「大学のあるまち」として継続的な連携事業が実施されている。 龍・龍連携事業としての各種取組の認知度は、横ばいで高まっていない。 スポーツや国際観光学科との連携など、大学の特徴を活かした取組が実施されている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 定例的取組以外の新たな取組の検討 流通経済大学との連携強化の取組の検討（市職員と大学職員, 学生, 教員との交流の活発化） 大学卒業後の学生との継続的な関わり合い
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 市の財産の一つとして「大学のあるまち」の特徴を活かす 大学卒業後の学生の市外への流出が顕著で、今後も継続していくと予測 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 在学中の学生のみならず、大学職員や教員との関係性の濃密化 複合的で効果的な他の学校や企業との連携も視野に新たな取組を創出

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 「大学のあるまち」としての強みを活かし、特徴的な連携事業が展開されています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
大学(学生)と市民の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> 龍・流連携事業の市民認知の向上 既存の手法にとられない, 市民ニーズに沿った連携の取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 龍・流連携事業に関する情報発信 市民大学講座 運動部への応援体制（まちの応援団, バスツアーなど） 学生ボランティア派遣 	
学生の住みやすさ向上と愛着の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 学生の住みよさを意識した取組を検討（既存の手法にとられない） 学生が自ら市の魅力発掘や発信を行うことで、在学中・卒業後も市への愛着を維持できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生割引サービス 学生の視点による市の魅力発掘・発信 	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者の魅力の発信
大学との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> これまでの連携の手法を再度見直し, 連携のしやすさや効率性を考えながら連携体制を再構築する 大学と市双方にメリットができるように意識する 	<ul style="list-style-type: none"> 市と大学の連携強化のための協議体の設置・運営 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
流通大学との連携事業や大学生との交流機会の創出への満足度	まちづくり市民アンケート	26.0	%
龍・流連携事業の認知度	まちづくり市民アンケート	36.6	%
龍・流連携事業や大学の開催するイベント等へ参加したことがある割合	まちづくり市民アンケート	13.9	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	主管課	社会福祉課, 介護福祉課
施策	(1) 支え合う地域福祉の実現	分野	地域福祉, 総合福祉センター, 民生委員, 成年後見人制度, 障がい者福祉サービス, シルバー人材センター, 高齢者福祉サービス

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	・福祉サービスの需要の増大への対応へのマンパワーの不足が見られる。	課題	・高齢者の増加などにより、サービスの提供体制の維持ができるか。 ・サービス需要の多様化への対応
将来予測	・高齢者の増加などによる各種サービスの提供体制の維持が難しくなってくる可能性	今後の方向性	・地域との連携などを強化し、地域福祉の担い手を確保 ・財源など、サービス需要の増大に対応する必要性

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

・全ての人が支え合いながら、誰もが住み慣れた地域で、いきいきとした自分らしい生活ができています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
支え合う地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の担い手の確保 地域との連携体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケアシステム 民生委員・児童委員 見守りネットワーク 成年後見人制度 自殺対策 	
障がい者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供体制の確保 家族の負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービスの提供 障がい者の就労支援 相談対応・関係機関等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供を担う人的資源の確保
高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の増加によるサービス提供の維持 家族の負担の軽減 高齢者の活躍の場・生きがいづくりの確保 	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターの支援 独居・老々世帯の高齢者の把握 緊急通報システム, 配食サービスなど独居高齢者等の生活支援 福祉センターの運営 長寿会への支援 	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供を担う人的資源の確保
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度	まちづくり市民アンケート	27.0	%
障がいのある人が生活しやすい施設・サービスへの満足度	まちづくり市民アンケート	15.0	%
地域での支え合いやボランティア活動への満足度	まちづくり市民アンケート	27.6	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
障がい者プラン			<ul style="list-style-type: none"> ・第2期地域福祉計画 ・高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 ・いのち支える自殺対策計画

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	主管課	健康増進課, 介護福祉課, 健幸長寿課, 企画課
施策	(2) 健康長寿社会の実現	分野	健診, 検診, 新保健福祉施設, 介護予防, 地域包括支援センター, 健康づくり

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	・市民の健康づくりに資する事業が展開されており, 新たな拠点整備の準備が進められている。	課題	・高齢化社会を見据えた元気に活動できるシニア世代への支援 ・持続性があり, 効率的な事業運営の必要性
将来予測	・高齢化の急速な進展することによる医療費の増大を抑制するため, 元気に活動できるシニア世代の活躍の推進が必要	今後の方向性	・元々なシニア世代が活躍できる場や機会を充実し, 「生涯現役」となれるような取組の推進 ・高齢者以外にも, 市民全体が自ら健康づくりに取り組めるような状況を創出

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

・誰もが主体的に健康づくりに取り組んでおり, 健康寿命が延伸し, 健康でいきいきとした生活が営まれています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
健康づくり基盤の強化	・誰もが来やすく利用しやすい健康づくり拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 健診・検診の推進 健康づくりに関する講座等による啓発 新保健福祉施設の整備 	
健康長寿社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> 元々なシニア世代が活躍できる場や機会を充実 高齢者以外への健康づくりコンテンツの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防事業 地域包括支援センターの運営 元気サロン松葉館の運営 まいん健幸サポートセンターの運営 ウォーキングの推進・健幸マイレージ 健康づくりに向けた運動習慣の定着 (健康体操等) 医療と介護の一体的事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツの活用 元気サロン松葉館・まいん健幸サポートセンターの見直し
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画			
第3期健康増進・食育計画			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	主管課	健康増進課, 新型コロナワクチン対策課
施策	(3) 地域医療体制・感染症対策の強化	分野	病院群輪番制度, 休日当番医, 予防接種, 新型コロナウイルスワクチン接種, 感染症対策

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	・済生会病院や医師会の協力の下, 適切な医療サービスの充実に努めている。	課題	・制度運用に係る持続可能性
将来予測	・適切な医療サービスの提供と感染症に対する着実な対策で市民の安心・安全に対する満足度が向上する。	今後の方向性	・効率的で効果的な地域医療体制の構築 ・着実な感染症対策の実施

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

・疾病やけが、感染症などに際して、 迅速で適切な医療をはじめとするサービスが提供されています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
地域医療体制の充実	・制度運用の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・稲敷地域病院群輪番制の運用 ・休日当番医の運用 ・稲敷地域小児救急医療輪番制度の運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療懇談会の運営 ・地域医療の持続可能性 (後継者問題) への対応
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
予防接種・感染症対策の強化		<ul style="list-style-type: none"> ・各種予防接種の推進 ・新型コロナウイルスワクチンの接種の推進 ・感染症対策備品等の備付け 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
病院等の数と夜間・休日等の医療サービス体制への満足度	まちづくり市民アンケート	42.3	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
第3期健康増進・食育計画			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	主管課	保険年金課, 社会福祉課, 生活支援課, 介護福祉課
施策	(4) 社会保障制度の適正な運営	分野	国民健康保険, 後期高齢者医療, 介護保険, 国民年金, 医療福祉, 医療費の適正化, 生活保護, 生活困窮者支援, 援護

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の影響などによる各社会保障制度への財政的負担が年々増加している。 ・家族関係の希薄化 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化に伴う医療費・サービス利用費の増大と制度の適正運用 ・医療費の抑制のための健康意識の醸成 ・支える側の不満への対応（年金などの保険料未納など）
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進展により、保険料などの上昇が見込まれる。 ・サービスを維持するためのマンパワーの必要性 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・制度に負荷をかけないための予防や健康増進の推進 ・適正な保険料の設定と徴収率の向上

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが平等で生活レベルを維持した営みができています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
社会保障制度の健全な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の推計や財政収支などを根拠とした、各制度の持続可能性の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保制度の安定化（県と共同した制度運営） ・後期高齢者医療制度の安定化（広域連合と共同した制度運営） ・介護保険事業の安定化 ・国民年金制度の適正運営 	
医療費の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の増大を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の適正化（レセプト点検, 医療費通知, 第三者求償など） ・人間ドック, 健康診査 ・発症・重症化予防 	
生活の安定化と向上	<ul style="list-style-type: none"> ・年々増加する生活保護者の対応に関する財源やCWの確保 ・複雑で多様化する生活困窮者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度の運用 ・戦没者, 戦傷病者などの援護 ・生活困窮者自立相談支援制度の運用（自立相談・就労相談） 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
ジェネリック医薬品の使用率	（保険年金課調査）		
健康診査などの受けやすさや健康づくりのしやすさへの満足度	まちづくり市民アンケート	53.0	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
障がい者プラン			・第2期地域福祉計画 ・高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	主管課	まちの魅力創造課, スポーツ都市推進課, 健幸長寿課
施策	(1) スポーツ都市の推進	分野	スポーツ, 健康づくり, トップアスリートの育成, スポーツを軸とした地域活性化, 総合運動公園などのスポーツ施設の運営, スポーツツーリズム

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツを行うための施設整備は、概ね十分なものとなっている。 スポーツの市民に対するアプローチが限定的になっており、関心のない市民の層も一定程度存在し、大きな変化がない。 地域活性化の資源としてスポーツを活用する動きが出てきている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施に当たって、持続性や効率性を意識した展開が必要 スポーツや運動に関心のない市民へのアプローチ 人口減少社会に向け、既存ストックの持続性を意識した施設運営
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> スポーツによる市民の恒常的な健康づくりが促進されることで、健康寿命の延伸が図られ、医療費の抑制などの効果が期待できる。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 適切な量のスポーツ施設を維持し、市民のニーズに応えつつ、需要と供給のバランスを考慮した施設運営が必要 スポーツを基軸とした健康づくりの一層の進展

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境が整っており、スポーツを通じて心身ともに健全で充実した暮らしができています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
スポーツ・運動を通じた生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人までの幅広い年代が参加できるスポーツ大会等の開催 市民のスポーツに対する多様なニーズへ対応するために、スポーツ団体の活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会・イベントの充実 指定管理者によるスポーツ教室の開催 総合型地域スポーツクラブとの連携事業の開催・事業支援・推進 ニュースポーツの推進 スポーツ協会等のスポーツ団体活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市独自のニュースポーツの普及 マラソン大会
競技スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> トップアスリートの発掘・育成・支援 流通経済大学運動部との連携 スポーツ指導者の育成 市ゆかりのオリンピックとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会等へ出場したスポーツ選手に対する大会出場激励金の交付 流通経済大学運動部活動と連携したイベントの開催 オセアニア柔道との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 市ゆかりのオリンピックとの連携イベント
スポーツ環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用しやすいスポーツ施設の充実 スポーツ施設の利用促進 地域住民の身近なスポーツ施設の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎市総合運動公園をはじめとするスポーツ施設の機能・設備の充実 スポーツ施設の運営とサービスの充実 学校体育開放事業の推進 流通経済大学運動部活動の活動支援（施設の優先貸出し） 	<ul style="list-style-type: none"> 総合運動公園の再整備
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

		事業等名（優先には◎）	事業等名
プロスポーツなどとの連携によるにぎわいづくり	・市の持つスポーツ環境や人的資源を活かした取組を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生官民連携プラットフォーム ・式秀部屋などとの連携（大相撲観戦ツアーなど） ・イースタンリーグ公式戦など 	・プロスポーツの招致
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
体を動かし、スポーツ等に親しむ機会・施設への満足度	まちづくり市民アンケート	47.7	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
			・第2次スポーツ推進計画

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	主管課	文化・生涯学習課
施策	(2) 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進	分野	生涯学習, 文化芸術, 文化財, 市民遺産, 社会教育, 図書館, 人材バンク, 人権啓発

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の環境は、図書館などのハード面、人材バンクなどのソフト面からも市民の学びの機会を確保できている。 市民遺産制度を活用し、文化財の散逸防止と文化財を活用したイベントなどに組み合わせており、意識啓発を促進している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の観点から、市民の文化芸術への取組への掘り起こしと支援策が必要 市民が主体的に学びの機会の確保や文化芸術活動に取り組める場の確保・提供などへの支援策の充実が必要 市民遺産など、文化財制度への市民の認知の向上と活用事例の増加
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 元気なシルバー世代が増加することで、生涯学習へのニーズが高まる。 まちづくりの観点から、生涯学習の充実が市の魅力向上につながる可能性 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 既存ストックを活かし、生涯学習に取り組める環境を充実 これまでの取組以外にも文化芸術に関する市民の活動の機会や場の確保が必要

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 誰もがそれぞれのニーズにあった学習の機会を享受できおり、豊かな人生を送ることができています。 文化や芸術、歴史に触れる機会が増えており、愛着や誇りが育まれています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
市民の学びの機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市民の学びの機会の確保に対する着実な取組の実施 市民の自主的な学びの場の確保への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の利便性向上 図書館における読書活動の推進（広範の市民向けイベント等） 人材バンク 出前講座 歴史民俗資料館における体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> 人材バンク・出前講座の見直し
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
暮らしを豊かにする文化芸術活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 市民が文化芸術に触れる機会、関わる機会の増加 文化芸術に取り組む市民の掘り起こしと支援、場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 地域における文化活動の育成・支援（文化芸術フェスティバルなど） 文化会館の運営 優れた文化芸術に触れる機会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 市民主催の文化的イベントへの支援 公演・発表などの場の確保に対する助成 空き店舗等を活用したイベントの開催への助成
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
歴史的文化的遺産の保存と地域資源としての活用促進	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財・市民遺産を通じて、文化財の散逸等を防ぎ、適切な保存が必要 文化財を市民等へPRし、活用することで、市民の認知を高め、シビックプライドの醸成及びにぎわいづくりにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財・市民遺産の認定・保護と保存施設の強化 指定文化財・市民遺産の活用（イベント等） 歴史民俗資料館の利便性向上 郷土史普及活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> まち歩き等による市民が文化財に触れる機会の創出 歴史まち歩きコーディネーターの育成 モデルルートの制作 歴史民俗資料館の展示のリニューアル 市の歴史的経緯を踏まえたグッズ等の制作・販売

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
芸術や文化に触れ親しむ機会・施設への満足度	まちづくり市民アンケート	27.0	%
生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度	まちづくり市民アンケート	26.7	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
			・教育プラン

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	主管課	こども家庭課、まちの魅力創造課、人事課、指導課、 市民窓口課、文化・生涯学習課
施策	(3) 多様性を認め尊重し合う、多文化共生社会の実現	分野	男女共同参画、女性活躍、DV 防止、ダイバーシティ、国際交流、多文化共生、人権擁護

2 施策に対する現状と課題、将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 男女平等の意識について、「平等になっている」は『社会全体』では約2割と意識が高まっていない状況（市民意識調査より） 外国人が増加傾向、多文化共生社会の提唱 SDGs、ダイバーシティへの意識の高まり 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に対する意識のさらなる浸透 外国人の増加を見据えた環境整備 LGBTであることを理由とした偏見の解消等、価値観の多様化への対応
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍社会の深化 外国人の増加に伴う新たな行政課題への対応 ダイバーシティの理念に基づく社会構築の加速化 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の理念の浸透、すべての人が働きやすい職場環境の整備 多文化共生社会の構築に向けた取組 ダイバーシティの理念の啓発

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 国籍や性別、文化や価値観などの違いを対等な立場でお互いに理解し合い、誰もが自分らしく幸せに暮らすことができます。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
男女共同参画社会・女性活躍社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に対する意識の深化 ワーク・ライフ・バランスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関連する情報や法制度の情報提供 イクメン・イクジイ川柳 附属機関等における女性委員の登用 市役所内における役職への女性職員の登用 ワーク・ライフ・バランスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍のロールモデルの構築
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
多文化共生社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加を見据えた環境整備 多文化共生社会構築に向けた現状把握と対応方策検討 	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会の活動支援（日本語教室、交流イベントほか） 市役所窓口での多言語対応 	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
人権を尊重して多様性を認め合う社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 価値観の多様化への対応 ダイバーシティの理念の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 性的少数者（LGBT等）への理解促進のための啓発 性的指向や性自認等（SOGI）に関する相談窓口設置 人権啓発のPR 小中学校における人権教育 	事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
男女の平等意識、性の差を感じずに活躍できる環境への満足度	まちづくり市民アンケート	22.7	%
諸外国や異文化との交流の機会への満足度	まちづくり市民アンケート	12.6	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
男女共同参画基本計画（女性活躍推進、DV防止）			
第4期特定事業主行動計画			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	5 安全・安心が実感できるまちづくり	主管課	危機管理課, 都市計画課, 下水道課, 介護福祉課, 社会福祉課, 道路整備課
施策	(1) 防災・減災対策の推進	分野	災害時応援協定, 防災行政無線, 防災体制の充実, 防災・減災意識の高揚, 地区防災計画, 防災訓練, 防災士の育成, 耐震化対策, 国土強靱化, 河川・都市下水道

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化計画に基づき、「自助・共助・公助」の視点の下, 災害に強いまちづくりの取組が実施されている。 ・地域や学校などや防災士などとの連携が図られている。 ・防災訓練などを通じ, 災害時にスムーズな対応がとれるよう, 対策が実施されている。 ・集中豪雨等により市街地の冠水が発生 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画の策定の遅れなど, 地域による意識の差が生じている。 ・市民の災害の備えに対する正しい理解の促進や理解に基づく避難行動がとれるような促しが必要 ・想定外の危機事象に対する対応力の向上
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> ・多発化する災害や新型コロナウイルス感染症など, 想定できない危機事象が増加する傾向が見られ, それに対応する必要性が高まっている。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な取組が効果を上げるため, 今後も引き続いての取組が必要 ・「自助・共助・公助」の意識の浸透, 行動変容への促し ・国土強靱化の推進

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの防災意識が高まっており, 安全・安心な暮らしが営まれています。 ・災害時に社会インフラなどが維持される「強さ」と迅速な復旧・復興ができる「しなやかさ」を持った, 災害に強いまちになっています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
防災力・減災力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症等への対応 (避難所運営) ・消防施設の老朽化 ・地域住民の減災意識の向上 ・多発化する災害への対応 ・災害発生の必然性に対する地域住民の理解促進 ・災害発生時の地域住民への情報伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となる防災訓練の充実 ・消防水利の改修・充実 ・感染症対策の推進及び備品の充実 ・民間企業及び自治体等との災害連携協定の締結 ・多発化する災害を想定した備蓄品の充実 ・地域住民の減災意識の向上 ・防災行政無線を主軸とした緊急時の連絡体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災マップの可視化 ・防災倉庫の拡充 (受援倉庫) ・防災・減災の学習機会の創出 ・大規模災害を想定した防災訓練の実施
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
地域の防災活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域による防災力の差の解消 ・地区防災計画の策定の促進 ・「自助」「共助」に対する地域住民の理解の促進 ・地域力向上の取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ協議会を単位とした防災訓練の実施 (マイ・タイムラインの定着など) ・自主防災組織の活性化 ・防災士の育成 ・災害時要支援者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の充実 ・自発的な防災活動への支援 ・防災を起点とした地域力向上の取組 ・防災士と自主防災組織の連携協力体制の構築 ・災害時要支援者の個別避難計画の作成
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名

国土強靱化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・内水はん濫時の排水処理機能の維持 ・密集市街地対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川整備 ・都市下水路整備 ・ポンプ場の維持管理 ・耐震改修の促進 ・下水道施設耐水化計画による施設の耐水化 ・狭あい道路の解消 ・急傾斜地の土砂災害防止への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・内水ハザードマップの作成
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
宅地の耐震化率	（都市計画課調査）		
台風や地震など自然災害への対策への満足度	まちづくり市民アンケート	38.8	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
下水道施設耐水化計画			<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画 ・国土強靱化計画 ・耐震改修促進計画
都市計画マスタープラン			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	5 安全・安心が実感できるまちづくり	主管課	危機管理課
施策	(2) 消防・救命体制の充実	分野	消防, 消防団, 初動の救急救命 (AEDなど)

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 消防団や自主防災組織の育成などに取り組んでおり, 初期消火活動における市民の意識の向上が図られている。 消防署や病院と連携した救急救命の活動が実施されている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化や核家族化など, 担い手の不足による消防団や自主防災組織の維持が困難になる可能性 市民レベルでもできる救急救命活動の一層の普及
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 消防団などの担い手不足や高齢化等による救急需要の拡大などが予測され, 対応が必要となる。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 消防や救急体制の維持を図るための取組を継続する。

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> 消火活動や救命活動への市民の意識の向上が図られており, 市民レベルでの消火活動や救命活動が迅速で的確に行われています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
消防団を中核とした地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化に伴う消防団員の減少への対応 消防団員と地域住民の交流機会創出による相互理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の活躍の場の創出 消防団の処遇改善 消防施設整備事業の継続 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
安心の救命体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 救急車が到達するまでの間の初動救命活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> AEDの設置 (公共施設・民間) 普通救急救命講習の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織での救急救命講習の開催
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
			・地域防災計画

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	5 安全・安心が実感できるまちづくり	主管課	生活安全課、商工観光課、都市計画課、社会福祉課
施策	(3) 暮らしの安全・安心の確保	分野	防犯体制の強化, 防犯灯の管理, 防犯パトロール, 見守りネットワーク、消費者問題, 交通安全

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの設置拡充や車載型カメラ設置補助といった新たな取組による防犯体制の強化 空家等の相談や指導体制等の整備による管理不全の空き家等が減少している 人口減少や自動車の高性能化を要因とした交通事故発生件数の減少したが、飲酒運転による死亡事故など重大事故が増加している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が主体となる防犯活動の促進 特殊詐欺の被害抑制 交通安全・防犯に対する意識の向上
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化及び人口減少に伴う防犯体制の弱体化 // 空き家等の増加 高齢者が起因する交通事故の割合の増加 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 警察署との連携による防犯対策のさらなる充実 地域に主軸を置いた防犯活動の展開

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 防犯意識が向上し、犯罪が未然に防がれ、誰もが平穏で安全・安心な生活を営むことができます。 一人ひとりが交通ルールとマナーを遵守し、市内の交通事故が減少しています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
地域の防犯体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯等設置施設の老朽化 地域住民が主体となる見守り活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラ・防犯灯の設置・地域安全キャンペーンの実施 防犯見守り活動支援 地域防犯向上の取組 防犯パトロール 北竜台交番の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪の特性や傾向を捉えた犯罪防止対策の推進
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
交通安全環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の老朽化による維持・更新の負担 道路交通法改正等による交通安全への意識の向上及び浸透 	<ul style="list-style-type: none"> カーブミラー等交通安全施設の設置 警察署等との連携による交通事故発生防止の取組の実施 運転免許証自主返納支援の取組 自転車安全利用の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 若年層及び高齢者層を対象とした交通安全教育の推進
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

消費者教育の充実	・特殊詐欺等の防止に向けた意識の向上	・消費生活センターの運営 ・特殊詐欺等の防止への啓発	・18歳成人に伴う若者への消費者教育
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
犯罪や非行防止などの治安対策への満足度	まちづくり市民アンケート	32.7	%
交通安全対策への満足度	まちづくり市民アンケート	39.1	%
消費者問題の相談体制への満足度	まちづくり市民アンケート	12.7	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
			・空家等対策計画

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	6 機能的で、利便性が高いまちづくり	主管課	都市計画課、まちの魅力創造課、商工観光課
施策	(1) 魅力ある都市拠点の形成	分野	拠点整備（地域生活拠点、都市拠点、産業拠点、交流拠点）

2 施策に対する現状と課題、将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> JR 龍ヶ崎市駅前のにぎわいづくりが期待されている 駅や大規模商業施設などを中心にしたまちづくりが望まれている 生産・流通系の用地はほぼ飽和状態 交流拠点である牛久沼周辺の利活用が進んでいない状況 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会に対応した都市構造への転換 都市拠点の魅力付けと地域生活拠点への機能集約 企業誘致に資する用地の確保 交流拠点の活用
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少と超高齢化社会の到来、移動制約者の増加 市街地のスポンジ化（空家等の増加、商業・サービス機能の撤退）の進行 広域道路の整備により圏央道やつくば方面へのアクセスが向上 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> JR 龍ヶ崎市駅周辺地域の魅力付けと機能強化 地域生活拠点の機能強化 つくばの里工業団地の拡張可能性検討 牛久沼トレイルなど交流拠点形成に資する事業展開の検討

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 4つの住宅系市街地それぞれに、商業・サービス機能など、日常生活に必要な機能が身近に確保されています。 牛久沼周辺に新たな交流とにぎわいが生まれています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
生活を支える地域生活拠点と魅力を生み出す都市拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> JR 龍ヶ崎市駅前の玄関口に相応しい環境整備 多極ネットワーク型コンパクトシティの形成 	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画に基づく規制・誘導 民間企業等と連携したイベントなどの開催 龍ヶ崎市駅東口ロータリーの改修 まちなか再生の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点地区への公共施設の集積、公的不動産の利活用 民間企業と連携した施設や店舗などの誘致
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
活力と雇用を生み出す産業拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> 操業環境の維持と機能強化 圏央道へのアクセス向上を活かした産業用地の創出（つくばの里工業団地拡張検討） 	<ul style="list-style-type: none"> つくばの里工業団地周辺の交通環境改善 圏央道4車線化の促進 美浦栄線バイパス整備の促進 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
にぎわいのある交流拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 牛久沼トレイルなど交流拠点形成につながる事業展開の検討 地方創生に資する広域連携施策の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅整備計画の見直し 牛久沼トレイルの検討 団体等と連携したイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生に資する広域連携施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
駅や大規模商業施設などを中心にしたまちづくりへの満足度	まちづくり市民アンケート	20.5	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
都市計画マスタープラン			
立地適正化計画			
地域公共交通計画			
まちなか再生プラン			
牛久沼観幸地構想			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	6 機能的で、利便性が高いまちづくり	主管課	都市計画課、生活安全課
施策	(2) 快適でシームレスな移動環境の構築	分野	地域公共交通, コミュニティバス, 乗合タクシー, A I オンデマンド交通, 自転車の活用, 関東鉄道竜ヶ崎線, 路線バス, 駐輪場

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年9月に, コミュニティバス運行計画を再編 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により, 公共交通利用者は減少 コミュニティバスの運行を主とした財政的負担が増加傾向 龍ヶ崎市駅周辺に市営駐輪場を配置。コロナ禍等で利用者減少 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 働き方の変容による公共交通利用者の減少 交通需要の多様化 高齢化の進行に伴う移動ニーズの増加 住民の移動ニーズが実際の利用に結びついていない 需要の見通しや民間施設の動向を踏まえた市営駐輪場の配置
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の減少により, 公共交通機関の維持・存続が困難 交通事業者等への経済的支援額の増加 交通需要の多様化により, 交通体系が複雑化 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果の検証 地域輸送資源を総動員し, 市全域で最適かつ効率的な交通ネットワークの構築を目指す 市営駐輪場の需要を見通した適正配置

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

・誰もが利用しやすく、便利な移動が可能になっています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
持続可能で効率的な公共交通の運行	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果や住民ニーズを踏まえた運行計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス運行計画の構築 乗合タクシー運行計画の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果の検証
公共交通ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> 病院、企業等の送迎バス等を含めた地域の輸送資源の総動員 多様な交通手段による「取り残さない」ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交通計画の策定・運用 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な地域輸送資源の把握 地域輸送資源の最適化 自転車活用の検討
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名

基幹公共交通の維持	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動手段の維持 公共交通を担う交通事業者の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの昼間割引 公共交通利用促進に関するイベント等の開催 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
新たな公共交通システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する移動ニーズへの対応 コミュニティバス、民間路線バス等をはじめとした他の地域公共交通機関との共存 		<ul style="list-style-type: none"> AIバスの導入検討及びそれに伴う基礎調査等の実施
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
放置自転車対策と適正な駐輪場の配置	<ul style="list-style-type: none"> 需要の見通しや民間施設の動向を踏まえた市営駐輪場の配置 放置自転車の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐輪場の運営 放置自転車対策 	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐輪場の需要を見通した適正配置

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
路上駐車や放置自転車への対策への満足度	まちづくり市民アンケート	33.8	%
市内の公共交通機関での移動の利便性への満足度	まちづくり市民アンケート	28.0	%
都心など市外への公共交通機関での移動の利便性への満足度	まちづくり市民アンケート	35.4	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
地域公共交通計画			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	6 機能的で、利便性が高いまちづくり	主管課	都市計画課、都市施設課、生活安全課
施策	(3) 良好な住環境の維持・創出	分野	住宅・宅地、空家等対策、空家等利用促進、市営住宅

2 施策に対する現状と課題、将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎市街地、佐貫市街地の宅地は概ね飽和状態 空家等が増加傾向 市営住宅の入居率が低下傾向 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ岡市街地の宅地化促進 立地適正化計画に基づく規制誘導の円滑化 空家バンク登録物件が少ない 市営住宅の入居促進と計画的な維持管理
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴うさらなる空家等の増加 市街地のスポンジ化（空家等の増加、商業・サービス機能の撤退）の進行 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 不動産の流動化と居住誘導区域の宅地化促進 適正な管理がされていない空家等の解消促進 既存ストック（空家等）を活用した移住・定住の促進 市営住宅の入居促進

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

・多様なニーズに応じた、安全で快適に住み続けることができる住環境が整っています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
良好な住環境の形成と良質な住宅の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 不動産の流動化 居住誘導区域の宅地化促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画や各種協定等の活用による住環境・景観の維持 屋外広告物の規制 	<ul style="list-style-type: none"> 居住誘導区域への誘導施策の検討 都市景観形成のルール化検討 住宅のシェアリング
空家等対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進行及び人間関係の希薄化による空家等の増加 空家バンクの登録数の伸び悩み 空家等の相続人等への支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策検討委員会・空家等対策推進協議会の運営 管理不全空家等への改善指導 空家バンクをはじめとした空家等所有者と利活用希望者とのマッチング 弁護士・宅地建物取引士などとの連携による相談体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 空家等を「防ぐ」取組の推進
市営住宅の計画的な予防保全と長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の計画的な維持管理 入居率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者にやさしい住宅の整備
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
街並みの美しさへの満足度	まちづくり市民アンケート	51.6	%
空家の撤去、活用などの空家対策への満足度	まちづくり市民アンケート	6.9	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
都市計画マスタープラン			
立地適正化計画			
空家等対策計画			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	主管課	環境対策課、農業政策課
施策	(1) 環境負荷の少ない地域社会の形成	分野	環境保全, リサイクル, ごみの減量, 循環型社会, カーボン・ニュートラル, 省エネルギー化

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量やリサイクルなどに取り組んでいるが、ごみの総量などの削減には至っていない。 ・太陽光発電などを代表とする再生エネルギーの導入促進については、一定程度の取組が確認できている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2050年ゼロカーボンを目指す国の取組に連動して、カーボン・ニュートラルの取組を着実に実施していく必要性 ・市民一人ひとりが自分ごととして環境問題を捉え、行動するように誘導していかなくてはならない。
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボン・ニュートラルなど、循環型社会の実現に向けた取組がより進展 ・市民の意識の向上が図られていない。 ・ごみの最終処分施設が不足する。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な取組と併せて、より有効な手段の検討と効果的な周知活動の実施 ・効果的な取組に対しては集中的に取り組んでいく必要性

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが環境に配慮した循環型社会を創ることに関心を持ち、実現に向け取り組んでいます。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
カーボン・ニュートラルの実現に向けた対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの普及促進 ・創エネルギーと省エネルギーのバランスによるカーボンニュートラル 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立・分散型エネルギー整備導入補助 ・公共施設のLED化 	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボン・ニュートラルに向けた取組（公共施設のZEB化、電動自動車の導入、再生可能エネルギーによる電力調達）
循環型社会構築に向けたごみの発生抑制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料に依存した大量生産、大量消費からの脱却 ・資源を有効に活用し、環境負荷の少ない循環型社会の構築 ・最終処分場の延命化 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）制度の推進 ・「ごみ減量キャンペーン」の開催等による意識啓発 ・生ごみ処理機器購入費助成 ・ごみ質の分析調査 ・指定ごみ袋の価格見直し ・産業廃棄物減量等推進審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの削減
循環型社会構築に向けたリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料に依存した大量生産、大量消費からの脱却 ・資源を有効に活用し、環境負荷の少ない循環型社会の構築 ・最終処分場の延命化 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物を回収し、種類ごとのリサイクルを実施 ※ビン・カン・紙類・布類・ペットボトル・白トレイ・木くず類等 ・小型家電等の回収（希少金属等資源のリサイクル） ・サンデーリサイクルの実施（毎週日曜日に臨時回収拠点を設置） ・資源物回収活動への助成（集団資源物回収助成金（こども会等）、行政資源物回収助成金（自治会等）） 	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業・取組の提案 事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ごみの発生抑制やリサイクルに関する意識が向上している。 リサイクル等を推進している民間事業者が増加している。 すべての市民や民間事業者が、循環型社会の構築に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習講座の実施 こども環境教室の実施 フードロス対策 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
環境にやさしい農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農業における環境負荷低減の推進 畜産資源を活用した循環型農業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> エコファーマーの認証への支援 有機農業の促進 化学肥料等の削減 	

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
再生可能エネルギーの活用など環境負荷低減の取組への満足度	まちづくり市民アンケート	35.0	%
ごみ収集サービスや資源リサイクルへの満足度	まちづくり市民アンケート	75.1	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
ごみ処理基本計画			<ul style="list-style-type: none"> 第2次環境基本計画 第4次地球温暖化防止実行計画

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	主管課	環境対策課, 農業政策課, 生活安全課
施策	(2) 自然環境の保全	分野	自然景観の保護, 牛久沼等の水質浄化, 自然環境の活用

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 牛久沼や市内を流れる河川, 台地の緑など, 豊かな自然に囲まれ, 自然景観が維持されている。 開発と自然景観の保護とのバランス, 気候変動の影響への対応が求められている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然と共生するまちを目指し, 市民や事業者との協力が不可欠 保全するだけでなく, 自然を活用していく手法を検討していく必要性
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然が残り, 開発とのバランスのとれた, 自然と調和したまちの景観が維持されていく。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と活用をバランスよく検討し, 豊かな自然を残しつつ, 自然を上手に活用した取組を実施し, 市の持つ魅力を向上させていく。 効果的な取組に対しては集中的に取り組んでいく必要性

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> 水や緑に恵まれた豊かな自然を残しつつ, 自然と共生したまちが実現できています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
自然環境及び里山の保全	<ul style="list-style-type: none"> オオキンケイギクなど繁殖力の強い特定外来生物が駆除され, 多様な植物が自生している。 耕作放棄地対策など遊休農地が減少し, 新たな活用が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税を活用した森林整備の推進 森林開発の把握及び適正化 緑地環境保全地域の指定及び自然保護指導員による指導啓発活動の実施 里山整備活動や谷津田の保全活動, 里親制度の活用 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
水辺環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 牛久沼等の水質が改善され, 周囲の散策や水上スポーツ等が盛んに行われている。 外来種の駆除などにより, 生物多様性が保全されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 牛久沼等の水質浄化促進対策事業の実施 (緊急対策外来種であるアカミミガメの捕獲等) 牛久沼等の水質調査 牛久沼流域市町村及び関係団体で構成する「牛久沼流域水質浄化対策協議会」による水質浄化対策及び意識啓発事業の実施 牛久沼への稚魚放流 緊急水質事案の調査・対策 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
特定外来生物への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 重要種が保護され, 有害種や特定外来生物への対応が進んでいる。 野生の動植物が身近に感じられ, 観察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定外来生物への対応 (センサー式カメラ設置, 駆除・捕獲) 	

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
環境美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自然や水辺の景観、水質悪化等につながる不法投棄の防止及び不法投棄物の回収・処分が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄等対策管理官、歩きタバコ・ポイ捨て等防止指導員及び不法投棄監視員による不法投棄等防止パトロール・指導 市民ボランティアによる空き缶等の回収・監視(歩きタバコ・ポイ捨て等防止サポーター(No!ポイサポーター)制度) 不法投棄防止対策(監視カメラの設置、看板設置、警告シールの貼付) わがまちクリーン大作戦(市内一斉清掃)の実施 残土対策 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
空気のきれいさや緑の豊かさなどの自然環境への満足度	まちづくり市民アンケート	74.3	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	(参考) 従前調査の結果
			第2次環境基本計画

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	主管課	道路整備課、都市施設課、都市計画課、下水道課
施策	(3) 計画的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備	分野	道路、公園、下水道

2 施策に対する現状と課題、将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備率は約 93.4%で近隣自治体の中でも高い状況 多彩な公園が配置され市民一人当たりの公園面積も県内でも上位 公園・緑地の整備に関する市民の満足度は高い 令和2年度末現在の汚水処理人口普及率は 93.4%と茨城県平均 (86.0%) を大きく上回っており、市民の満足度も他施策と比較して高い 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 道路、橋梁、公園の老朽化、維持管理コストの増加 構想路線である（仮称）県南広域道路の進展が図れない状況 下水道施設の老朽化対応 下水道事業の効率的運営
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 超高齢化社会の到来、健康志向の高まり等により道路や公園に求められる機能が変化 広域道路の整備により圏央道やつくば方面へのアクセスが向上 道路、公園の老朽化の進行 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 安全な歩行空間の確保とサイクリング需要への対応 道路施設、公園施設の計画的な維持、改修 公園の有効活用 地域のニーズに応じた公園づくり、防災空間としての活用など多機能化 下水道の計画的な予防保全による長寿命化と地域特性に応じた下水道整備

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 道路、公園、下水道など誰もが安全・安心で快適に利用できる環境が整っています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
機能に応じた道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> 広域ネットワークへのアクセス向上 維持管理の効率化 （仮）県南広域道路のあり方整理 	<ul style="list-style-type: none"> 佐貫3号線整備事業の推進 橋梁の長寿命化修繕 美浦栄線バイパスの整備促進 道路舗装の計画的修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ねがら道の整備
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
市民に愛される公園の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な公園施設の更新 公共施設里親制度 公園機能の維持 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

汚水処理施設の計画的な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 下水道・農業集落排水の計画的な予防保全による長寿命化 地域特性に応じた下水道整備 合併浄化槽の普及 	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道整備事業 下水道事業ストックマネジメント 合併浄化槽の設置推進 	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画に基づく効率的な改修、維持管理
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
上下水道の整備への満足度	まちづくり市民アンケート	63.9	%
地域と地域を結ぶ幹線道路の整備への満足度	まちづくり市民アンケート	40.7	%
身近な生活道路の整備への満足度	まちづくり市民アンケート	49.6	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	(参考) 従前調査の結果
都市計画マスタープラン			
下水道全体計画			
舗装維持修繕計画			
橋梁長寿命化修繕計画			
公園施設長寿命化計画			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	主管課	コミュニティ推進課, シティセールス課
施策	(1) 市民主体のまちづくりの推進	分野	市民協働, 地域コミュニティ, コミュニティセンター, 市民活動, 広報, 広聴

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 市民自らが「公共」を担う意識啓発や活動を促進 特定の市民に限った広がりしかなく、幅広い市民の行動変容にはなっていない。また、ボランティアで「やらされている」活動との認識が一部にある。 様々な媒体を用いて、市民が求める情報提供や意見聴取を充実させている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動の担い手の高齢化など、持続可能性に視点を置く必要性 市民アンケートからも市民活動への参画意欲が低い。 特定の市民に限った活動となっている。 行政の人的・物的支援には限界があることを認知していく必要性 社会の変化や市民の多様性に対応した情報発信・広聴機会の確保
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 今後の人口減少による担い手不足・財源不足など、行政のみで市政を担うことは困難になる。 市民自らが「公共」を担う意識の醸成と行動変容が、持続可能な市政運営のため、重要な要素の一つとなる。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治組織や地域コミュニティの活動に限定されずに、市民活動が幅広い分野に裾野を広げていく。 市民「自ら」が考え・行動することができるような情報発信の強化と意識の醸成 行政の支援は、市民の「バックアップ」との意識を持ち、不必要な支援にならないように留意

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> 市民と市の役割を一人ひとりが理解し、「パートナー」として信頼し合いながら、自発的な市民活動が実践されています。 分かりやすく市の情報が発信され、市民との活発な意見交換がされており、「開かれた市役所」が実現できています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
市民と行政の相互理解・情報共有の強化	<ul style="list-style-type: none"> 市民が求めている情報を適時適切に発信できるようにしていく。 多様な手法により、多くの市民の意見を聴取し、市民との意識の共有を強化し、施策に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 市広報紙「りゅうほー」の発行 市公式ホームページ, SNS などの情報発信ツール運用 市民懇談会等による意見交換の機会の確保 市長への手紙などの広聴活動 インターネット等を活用したアンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> 出前市長室 ネットモニター制度
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
市民自らが考え、行動する、活発な市民活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 市民が「自ら」考え、行動できるような支援策を検討 担い手の高齢化への対応 現役世代の市民活動への参画の推進 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり・つなぐネット まちづくりポイント制度 NPO法人への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動推進補助金
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

地域における市民活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のことは地域で解決できるような体制の整備 ・担い手の高齢化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの支援 ・住民自治組織の支援 ・コミュニティセンターの運営 ・地域集会施設整備への支援 ・市民活動センター，市民交流プラザの運営 ・新長戸コミュニティセンター建設 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター整備計画の見直し ・自治組織・地域コミュニティ組織の法人化
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
地域の人々がふれあい、交流できる機会・内容への満足度	まちづくり市民アンケート	24.9	%
まちづくりに気軽に参加できる機会への満足度	まちづくり市民アンケート	22.4	%
市民活動への支援や参加できる機会への満足度	まちづくり市民アンケート	23.4	%
広報紙等行政からの情報発信への満足度	まちづくり市民アンケート	48.9	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は，計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	主管課	企画課
施策	(2) SDGsの推進	分野	SDGsパートナー制度, SDGsによる官民連携, SDGsの市民意識の醸成

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの認知度向上の取組が一定程度実施されている。 SDGsの市民の認知度は、あまり高いものではない。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに対する市民の認知度の向上 SDGsに取り組む企業を増やし、市との連携を行うことで認知度向上などの相乗効果を図る必要性
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの認知度が向上し、持続可能なまちづくりが実施される。 市と企業との連携体制が構築され、幅広い活動が期待される。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> SDGsを軸とした市と企業、団体等との連携体制を強化し、SDGsのみならず、様々な連携した取組が実施されるよう促す。

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

<ul style="list-style-type: none"> SDGsの市民の認知度が向上しており、持続可能なまちづくりが実践されています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
SDGsによるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 企業・団体とともにSDGsの理念を共有し、まちづくりに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsパートナーシップ制度の運用 SDGsパートナー登録 市広報紙・公式ホームページ・SNSなどでの取組紹介 パートナー間連携による新規取組の推進 研修会の開催（職員・市民） 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsパートナー間での自発的な連携事業の促進 SDGsパートナーと市民の交流機会の確保
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
SDGsの機運醸成	<ul style="list-style-type: none"> 市民等に向けてSDGsの取り組みを周知し、取り組みに対して参画を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの取組を周知する発表会を開催 市広報紙等によるSDGsの啓発記事の作成（コラム） SDGsアイコンの事務室等への掲出 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsを軸としたイベントの開催
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
SDGsの認知度	まちづくり市民アンケート（よく知っている・おおむね知っているの合計）	31.7	%
SDGsの生活・行動変容への意識	まちづくり市民アンケート（いつも意識している・まれに意識しているの合計）	31.5	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	主管課	企画課, 情報管理課, 人事課, 契約検査課
施策	(3) 効率的で透明性の高い市政運営	分野	行政サービスへの民間委託等の導入, 広域連携, 事務事業の見直し 人員の確保と人材育成の強化,

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 民間業務委託や提供サービス利用などにより業務効率化を図っている。 消防や塵芥・衛生など広域連携により事務の効率化が図られている。 ニーズに見合った人材を確保し育成している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な民間サービス等の導入 さらなる広域的な事務効率化 様々な需要に対応出来る人材の確保及び育成
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 様々なニーズに対応できる人材が不足している。 業務量に対する人材が不足される。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保及び採用人材の育成 限られた人材の中で遂行するため, 広域的な事務を検討 民間業務委託や民間提供サービス活用による業務効率化を図る

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> 効率的で質の高い行政運営が行われています。 行政運営に必要な優秀な人材が確保できています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
事務事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業の見直し (廃止・統合) 事務手法の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセスの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 庁内事務事業の見直し (BPR) 開庁・閉庁時間の見直し 電子契約の推進
民間サービスの活用	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者への業務委託 民間事業者提供サービスの利用 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口業務のアウトソーシングの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 民間活用への企画提案 (RFI) の実施
行政サービスの広域的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> 広域的に行うべき事務の確認 広域組織の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 牛久市・利根町との広域連携協定 (施設利用) 	<ul style="list-style-type: none"> 広域行政事例の調査検討
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案

		事業等名（優先には◎）	事業等名
人員の確保と人材育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による職員数減少への対応 ・職員スキルアップに向けた支援制度の拡充 ・民間事業者との人材交流による育成 ・管理職の人材育成（職場環境改善能力の向上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修（専門研修・特別研修）の実施 ・外部研修への職員派遣 ・採用試験の見直し ・定年延長に係る職員のモチベーションの維持への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主研修への支援 ・人事評価制度の見直し（360度評価）
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
行政サービスの民間委託への満足度	まちづくり市民アンケート	18.5	%
市役所の仕事ぶりへの満足度	まちづくり市民アンケート	38.4	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
第3次人材育成基本計画	令和3年4月1日～令和8年3月31日		

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	主管課	シティセールス課, まちの魅力創造課, 商工観光課
施策	(4) 効果的なシティプロモーション	分野	シティプロモーション, イメージ戦略, 市の認知度向上, 関係人口, ふるさと納税

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての優位性を中心としたシティプロモーション活動が積極的に展開されており, 子育てのまちとしての認知が高まっている 市の認知度については, 近隣市に比べて低い状況となっている。 市民の推奨・参画意欲が低い 	課題	<ul style="list-style-type: none"> シティプロモーション自体は, 各施策にそれぞれ紐づき実施されるものであり, プロモーションの手法や考え方を市全体で共有する必要がある。
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少の予測されるなか, 市との関わり合いを持つ関係人口に注目し, まちづくりのサポーターとしての役割を強化 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> プロモーションの視点を持った施策を「見せる」取組の実施 関係人口と市との関わり合いの機会の増加 市民の推奨・参画意欲の向上

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのまちづくりへの推奨・参画意欲が向上しています。 積極的なシティプロモーション活動が行われており、多くの人が市の「ファン」になっています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
シビックプライドを向上させるシティプロモーションの展開	<ul style="list-style-type: none"> 市民の推奨意欲と参画意欲を向上させるための取り組みの継続 現在の子育て環境の PR サイトとしての考え方の整理と、再構築などを検討 	<ul style="list-style-type: none"> 市 PR サイト「子育てたつのこアクション」を活用した市民の推奨・参画意欲の向上 「たつのこそだて」など, 市出身者・在住者へのインタビュー等を通じ, シビックプライドを醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 市 PR サイトの再構築
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
関係人口の創出の推進	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口の市との関わり合いを「認知」の段階から「行動」の段階へとステップアップが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎ファンクラブ事業 	<ul style="list-style-type: none"> 大学卒業生など市外へ転出した方の市の魅力発信
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
定住促進に向けたプロモーション活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> 定住人口の確保と人口流出の抑制に視点を置いたプロモーション活動を継続 定住促進のプロモーション活動のなかで推奨意欲や参画意欲向上策の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットを考慮した子育て情報誌等への広告掲載 市民参加型での居住環境の優位性 PR (家族モデル等) 市の認知度, 来訪意欲などの情報収集 (まちづくり市民アンケートの中で実施が望ましい) 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	
		新規事業・取組の提案	
		事業等名	

		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
市民の推奨意欲（龍ヶ崎の魅力を勧める気持ち）	まちづくり市民アンケート（問18）	-50.8	NPS
市民の参画意欲（地域をよくする活動への参加）	まちづくり市民アンケート（問23）	-38.6	NPS
龍ヶ崎ファンクラブ会員の推奨意欲	会員アンケート		
シティプロモーション活動への満足度	まちづくり市民アンケート	15.4	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	主管課	企画課
施策	(5) 公共施設の「縮充」の推進	分野	公共施設再編成, 公共施設マネジメント, 未利用財産の活用, 持続可能な財政運営 行政サービスの在り方

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 施設の基本的な情報や工事履歴, 燃料費等の施設情報について, システムなどに集約・蓄積して活用することにより, 計画的な施設の維持管理を行っている。 指定管理者制度の活用等, 民間事業者との連携(官民連携)に取り組んでいるが, 様々な手法を検討し, さらなる取組が求められている。 利用見込みの無い施設等の解体を進めているものの, 社会情勢の変化や新たな需要に対応するための新規事業や既存事業の拡大に伴う施設の整備により相殺され, 施設の保有量は微減となっている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ニュータウン開発などにより, 過去に一斉に整備した公共施設が同時期に更新を迎えることによる財政負担 施設保有量を減らしながら, 社会情勢の変化に伴う多様な需要を満たしていくため, 公共施設と機能の適切な組み合わせを検討し, 未利用施設を処分していくことが必要 多様な官民連携(PPP/PFI)手法を導入による, 財政負担の軽減や平準化, サービス向上の実現 社会的役割へ対応するためのユニバーサルデザイン化や脱炭素化の推進
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・少子高齢化の進展により, 維持できる施設の量や求められる運営形態や機能が変化していく。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能なカタチで次世代へつないでいくため, 「効果的・効率的な維持管理」を継続しながら, 「施設運営・機能の最適化」, 「施設配置・保有量の最適化」を図っていく。 市民と情報を共有し, 理解を得ながら最適なカタチを共に考え実行していく。

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ (目標年次: 令和8年度末)

<ul style="list-style-type: none"> 誰もが将来のあるべきまちの姿を見据え、共に考えながら、適正な公共施設の配置ができています。

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
効果的・効率的な維持管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> 着実に点検・診断等が実施され, 予防保全型維持管理を基本に, 施設ごとに, 今後の方向性や使用年数等を踏まえた維持管理を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共施設点検マニュアル」及び「公共施設点検チェックシート」に基づく点検等 施設情報の整備(公共施設マネジメントシステム(BIMMS), 施設カルテ, 固定資産台帳の作成・活用, 稼働状況調査) 中期5か年保全計画(中期事業計画)の作成・実行 改修等におけるユニバーサルデザイン化等施設機能の向上 	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名 (優先には◎)	事業等名
施設機能・事業運営の最適化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスについて, 「公共のみ」「民間代替」「官民連携」の3つに分類し, 公共で行う必要のない事業については民間活力を導入するなど整理を行います。 集積・蓄積している施設情報を活用し, 事業運営費等行政コストの精査による受益者負担の適正化を行い 	<ul style="list-style-type: none"> あるべき行政サービス水準の検討 官民連携(PPP/PFI)の推進 使用料・手数料の適正化 情報技術の活用による利便性の向上及び施設規模の在り方の検討 	

	ます。		
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
施設配置・保有量の最適化	・市全体及び地域特性を考慮し、社会情勢の変化に合わせた施設配置の見直しを行い、施設機能の維持・向上に努めながら保有量の削減を行います。	・新設の抑制 ・多機能化・複合化の推進 ・資産の圧縮(跡地活用) ・広域連携の推進	
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
	・	・	

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
2022年4月1日現在未利用となっている公共施設の減少	(企画課調査)	6	件
公共施設の総量削減について理解している市民の割合	(企画課調査)		%
公共施設等の現状や課題について関心を持っている市民の割合	(企画課調査)		%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	(参考) 従前調査の結果
公共施設再編成の基本方針			
公共施設再編成の基本方針に基づく第2期行動計画			
公共施設跡地活用方針			

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	主管課	情報管理課, 企画課, 市民窓口課
施策	(6) 電子自治体の推進	分野	I C T技術活用, 事務事業の見直し

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現 状	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きのデジタル化に向けた取り組みは進んでいるが、一部の業務に限られている。 電子化に向けた本人認証としてのマイナンバーカードの普及を進めている。 今後の飛躍的な電子化を見据えて、様々な展開への検討をしている。 	課 題	<ul style="list-style-type: none"> これまで申請書など紙を中心としてきた業務からデジタル技術を活用した手続きに意向する際の併用期間に伴う処理事務煩雑化。 デジタル技術活用に向けた市民理解 入口だけではなく業務処理完了までの完全デジタル化の実現 導入運用コストの増加
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きのデジタル化が進み、市役所に来庁せずに完了する手続きが増えている。 事務手続きなどはすべてデジタル処理され、代わりに職員は政策立案や窓口相談などの業務を行っている。 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 窓口手続き業務からの電子化拡大 来庁者への書かない窓口から来させない窓口への展開 デジタル技術活用による行政手続きのさまざまな部分でのデジタル活用による効率化。

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

・デジタルトランスフォーメーション（DX）により、効率的で便利な行政運営が実践できています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
デジタル・トランスフォーメーションの推進体制の構築	市長から職員、会計任用職員までDXの基礎的な共通理解の形成や実践意識の醸成を図る	・専門部会の設置による集中的な改善計画実行	<ul style="list-style-type: none"> デジタル人材の確保・育成 ・地域情報化アドバイザー派遣制度の活用
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
自治体情報システムの標準化・共通化	2025年に向け20業務を国策定の標準仕様に準拠したシステムへの以降と、標準仕様に当てはまらない市独自部分の在り方の検討		・情報システム構築化検討専門部会
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

行政手続のオンライン化	来庁することなく、申請等手続きを自宅などで可能とする仕組みを構築し、運用する必要がある。 (その手続きの中で支払いもキャッシュレス決済にて可能とする) ・マイナンバーカードの普及率向上と継続性を担保するため、行政サービスへの活用手法を検討し導入する。	・キャッシュレス決済対象業務の拡大 ・手続きオンライン化に向けた専門部会設立及び検討 ・マイナンバーカード取得に向けた周知及びキャンペーンの実施、出張申請の受付	・窓口デジタル化推進検討専門部会 ・マイナンバーカード活用機会の拡大（保険証以外）
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組 事業等名（優先には◎）	新規事業・取組の提案 事業等名
デジタルデバйд対策	オンライン化に合わせ、デジタル手続きを得意としない高齢者などを対象とした説明会等を実施するため、指導員（説明員）の確保や育成をする		・デジタル手続き指導員の養成（地域住民や高校・大学生） ・デジタル説明会の実施（地域コミュニティ単位）

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	(参考) 従前調査の結果
龍ヶ崎市情報化推進プラン	第4次（～令和4年12月）、第5次（令和5年1月～）		

基本計画検討シート

1 次期最上位計画における施策体系の概要

政策目標	8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	主管課	財政課, 企画課, 納税課, 税務課
施策	(7) 持続可能な財政運営	分野	財政運営の健全化, 市税徴収環境の向上

2 施策に対する現状と課題, 将来予測・方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> 「財政運営の基本指針等に関する条例」に基づく第2次中期財政計画による財政運営の推進 予算要求基準の見直し（一般行政経費の部単位での枠配分）による事務事業の見直し 社会保障関係費をはじめとする義務的経費の増加傾向 財政運営の硬直化（経常収支比率等の数値高止まり） 新型コロナによる不安定な歳入環境（市税・地方交付税等） 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナによる見通しの立たない社会経済情勢における歳入環境でも柔軟に対応可能な財政基盤の確立 多様化・複雑化する市民ニーズに対応可能な事業の見直し さらなる自主財源の確保 財政状況についての市民理解の向上 老朽施設・インフラの更新等
将来予測	<ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口の減少に伴う状況における市税等を含めた自主財源の安定的な確保 財政収支見直しでは10年後の累積収支不足額と一般基金残高が均衡 老朽施設・インフラの更新需要の増加 	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 第3次中期財政計画に基づく持続可能な財政運営の推進 市税等の納税環境の整備等による徴収率向上 市民への的確な財政状況を情報発信し、透明性の高い財政運営の推進

3 施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ（目標年次：令和8年度末）

・市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応した、次世代においても持続可能な財政運営が行われています。
--

4 主要施策

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
中期的な視点による財政運営	<ul style="list-style-type: none"> 第2次中期財政計画の取組及び成果を踏まえた第3次中期財政計画による計画的な財政運営を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 予算要求における一般行政経費の枠配分 歳出削減の取組 <ul style="list-style-type: none"> 人件費・公債費等義務的経費の抑制等 特別会計や公営企業等の健全化 外郭団体の経営健全化 歳入確保の取組 <ul style="list-style-type: none"> 使用料及び手数料等の見直し 公共施設のネーミングライツ 未利用資産の売却 ふるさと納税の増収 基金残高の適正確保 	<ul style="list-style-type: none"> 財政マネジメントの強化（新財務会計システムを活用した中期事業計画及び予算編成事務の見直し、事業成果検証等） クラウドファンディングの利用による財源確保
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
市税等の適正課税の推進と納税環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 安定的な自主財源の確保 税負担の公平性 納税環境の整備による利便性向上 適正課税 	<ul style="list-style-type: none"> キャッシュカードによる口座振替受付サービス（バイジー）の推進 納税環境の整備（納付方法・手続きの拡充等） 租税教育 	<ul style="list-style-type: none"> WEB口座振替受付サービスの導入

施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
わかりやすい財政状況の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する財政状況の共有化・見える化 財務書類等による予算編成や中・長期的な財政運営への活用 	<ul style="list-style-type: none"> 条例に基づく財政状況の情報共有（予算・決算・財務書類等） 財政収支見通しの公表 	<ul style="list-style-type: none"> 地方公会計制度に基づく財務書類の整備・活用（新財務会計システム導入） 施設別・事業別の財務書類等の作成・活用
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名
施策名	解決すべき課題と今後の方向性	継続すべき事業・取組	新規事業・取組の提案
		事業等名（優先には◎）	事業等名

5 考えられる成果指標

指標名	指標の出典・根拠	令和3年度数値（実績値）	単位
市税等の収納率	（納税課調査）		
経常収支比率	（財政課調査）	93.2（R2 決算）	%
積立金残高比率	（財政課調査）	34.6（R2 決算）	%
基礎的財政収支	（財政課調査）	黒字（R2 決算）	%
実質債務残高比率	（財政課調査）	181.3（R2 決算）	%
社会資本形成の将来世代負担比率	（財政課調査）	11.6（R2 決算）	%

6 関連する分野別計画

分野別計画の名称	計画の場合は、計画期間	継続の有無	（参考）従前調査の結果
第3次中期財政計画	令和5年度～令和8年度	継続	第2次中期財政計画